



編集発行者  
千葉大学医学部  
るのほな同窓会報編集部  
〒260-8670 千葉市中央区亥鼻1-8-1  
千葉大学医学部内  
るのほな同窓会  
電話 (043) 202-3750  
FAX (043) 202-3753  
e-mail : info@inohana.jp  
HP : https://www.inohana.jp/



千葉大学医学部同窓会報 第184号 題字 故 鈴木五郎 (大11卒 元るのほな同窓会長)

### 令和2年度 るのほな同窓会総会 中止

わたくし高穂るのほな同窓会長より4月に発出されました急告により、令和2年度るのほな同窓会総会を中止いたします。そのため、総会議案を书面表決にて行うこととし、15、16面に書面表決資料を掲載いたしました。同封のハガキ(書面表決書)にご記入の上、8月11日(必着)までに投函してください。

#### 急告 るのほな同窓会員 各位

新型コロナウイルスの世界的感染拡大の中、日本国内の感染者数の増加も認めております。政府ならびに関係省庁の方針に則り4月~7月までの4か月間、会合の自粛を致します。

1. るのほな同窓会総会の中止
  2. 付随する、理事会、総務会の休会
  3. 各種議案の審議、決定及び会員への通知は、メールや郵送とし随時、会員諸氏のご意向を反映させるものとする
- 以上の方針とし、資料郵送その他により補完する所存です。なにとぞご理解のほど、お願い申し上げます。

令和2年4月2日

千葉大学るのほな同窓会  
会長 済陽 高穂

※会報184号は、5月発行予定でしたが、総会議案を掲載し書面表決を行うため、7月発行とさせていただきます。

### 令和元年度

### 千葉大学医学部 卒業・祝辞

るのほな同窓会長

令和2年3月23日(月)  
済陽 高穂(昭45)



本日は皆さん、卒業おめでとございます。大学の修業課程をすべて修了し、また長かった小学校入学以

来の18年間の教育期間の終了を迎え、安堵の念を抱いていることと思います。しかしそれ以上に諸君のご家族にとつては、待ちかねた日であり、また医学部教授陣をはじめ教育に当たった指導教官たちにも嬉しい一時です。これまで永年ご子弟に注がれた親族としての

愛情や、後輩への薫陶に對し、心より感謝致す次第です。

諸君がこの亥鼻台で学び、また学園でのクラブ活動の一環として、青春の友情を育んだ日々は、何物にも代えがたい珠玉の宝物として、生涯皆さんの心の中に輝き続けることと思います。

縁あつてるのほな同窓会員になつたわけですが、我々同窓会は常に、皆さんのために何かお役に立ちたいと考えています。同窓会はいわゆる親睦団体であり、その目的とする所は『医道の昂揚と会員の親睦』であ

りますが、年3回、会報を発行して医学部ならびに同窓会員の動静や活動状況をつぶさに報告しています。またるのほな同窓会のホームページも充実し、各自のパソコンで閲覧可能でありネットでも最新の情報も発信しております。診療の合間に閲覧していただくようお願いしたいと思ひます。その他、附属図書館亥鼻分館への支援、運動部・文化部など課外活動・東日本医科学生総合体育大会への助成など幅広い賛助活動を実施しており、また関東各都県やその他の支部での会員活動も積極的に支援されていますので、各県で勤務される皆さんは、所属する支部と連絡を密にして、その活動に参加・協力していただくようお願いいたします。

千葉大学開学135周年事業として、同窓会員総意のもとに、多額の浄財を募り、新同窓会館が5年前に完成しました。会員の母校愛の象徴としてこれからも末長く活用されるよう希望しております。

わが千葉大学医学部は、開学146年の歴史を有し、優秀な研究者あるいは熱意溢れる臨床医を数多く輩出してきました。不治の病に挑み独創的な手術方法を開

### 祝 叙 勲

発し、あるいは難病の診断や治療に取り組み、国際的評価を受けた先輩も多数おられます。日本医師会長として我が国の医療をリードしてこられた先輩もおられます。皆さんもこれからも努力を重ねこれら諸先輩に続いて、医療界に足跡を残す医師として成長するよう心より願っております。

近年の大地震・津波などの自然災害で、我が国は甚大な被害をうけましたが、本年頭からの新型コロナウイルスの世界的感染拡大は百年に一度の重大な災厄であり、

我々の非力さを痛切に感じさせるものでした。「公衆衛生学」や「疫学」の意義の重大さをあらためて認識させられる処です。

しかしその中であつて、日本の社会が奈良朝以来の千三百年余の歴史を持ち、貴族や武家などによる封建制度を経て近世を迎えている社会組織の中では、『公序良俗』がよく保たれてきた証左と考えられます。すなわち、国家としての体制を乱さず、身勝手な個人行動を戒めて、可能な限り良識ある国民として行動する習性を身に付けているように感じられます。

(次面に続く)

### 紙面紹介

総会開催中止	17
卒業祝辞	15
就任挨拶	12
人事異動	10
叙勲感想	9
受賞の挨拶	8
最終講義	6
地区るのほな会報	2
各地るのほな会報	2
総会議案	2
メモリアル事業	1
研修プログラム	19
追悼文	22
著書紹介	22
雑文雑談	22
学内情報	23
課外活動団体だより	23
欧州医学史巡り	24
議事要旨	25
同窓会ホームページ	25
編集後記	29
	30
	27
	28
	23
	22
	20

令和2年 春の叙勲  
瑞宝中綬章  
西牟田敏之(昭42)

瑞宝小綬章  
平井 愛山(昭50)

瑞宝双光章  
三橋 稔(昭35)

るのほな同窓会  
卒後50周年基金  
への寄附

昭和43年卒クラス会  
二十二万円  
ありがとうございました。

(済陽先生のつづき)  
約30年前、東京女子医科大学病院で約3か月間、岸信介元首相(故人)の受け持ちになり、その警咳に接したことがあります。朝夕の回診時、ご自分の病状については全く意に介せず、「君たち朝早くから大変だね。社会が安定して日本国民は幸せかね？」など常に

国民のこのみを思われていたことが、印象に残っています。安倍晋三首相もこの数か月間の国難に対し、心の中で祖父・岸首相を思い浮かべて、英断を下されたろうと思います。

諸君が医師となり、良い環境に恵まれて医学の研鑽が積めるよう、心より願っています。常にお患者さん

の期待に応えるよう努力していただきたいと思えます。諸君が、この亥舞台で学び、よき友、よき恩師を得て、誇りを忘れず医療界に貢献する医師としてさらに成長されることを祈っております。本日はまことにありがとうございます。令和元年度卒業証書伝達式は中止されました。

## 附属病院長就任挨拶

### ―千葉大学医学部附属病院長への就任にあたって―

内分泌代謝・血液・老年内科学 横手 幸太郎 (昭63)



令和2年4月1日より、山本修一病院長の後任を拝命いたしました。甚だ微力ではございますが、精一杯その任務を全うしたいと思います。何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

これまで内科医として診療・研究・教育を行う一方、宮崎勝先生・山本修一先生の下、副院長長として9年間、病院の運営に携わってまいりました。その経験を糧に、患者さんの側に立つて良質かつ適切な医療を提

供し、患者、職員と家族、そして社会から信頼、尊敬され、親しまれる病院となるよう努める所存です。高度な医療の実践、その担い手となる人間性豊かな医療人の育成という使命はもちろんのこと、大学病院が国民に評価され期待されているのは、今は治すことのできない病気を克服し、明日の医療を切り拓く研究の推進であると考えます。臨床研究中核病院としての立場を最大限活かし、新しい診断法や治療法を創出人類に貢献できる研究力を one team となつて向上することに、力を尽くしたいと思います。

は、地下3階、地上6階の新しい中央診療棟がオープンします。ハイブリッド手術室や充実した救急・集中治療施設、現状の2倍の放射線治療装置などを擁し、さらなる診療機能の充実を見込んでいます。そして同年、その西側に隣接して新しい医学部棟も完成し、念願であった「医学部と病院の連結」が実現します。相互の連携を密にし、教育・研究・診療の発展を加速したいと考えます。旧野球場跡地に2棟のビルが並ぶこととなり、景観は大きく変わりますが、「桜並木」は新たな形で整備される予定です。ので、の は な 同窓会の皆さまにおかれましては

どうかご安心下さい。さて、千葉県は、昨年2度の大きな台風に見舞われました。今は、刻一刻と増える新型コロナウイルス感染症患者の報を耳にしながらこの原稿を書いています。この1年間ほど、危機管理・災害対応の重要性を意識したことはありません。千葉県の医療における当院の役割を改めて認識しつつ、危機に強い病院・組織のあり方を求め続ける必要性を感じる次第です。

千葉大学病院は、1874年に共立病院として設立されてから、間もなく150周年を迎えます。これまで、多くの先輩方のご努力により築かれてきた伝統を受け継ぐとともに、新たなエネルギーを加え、次の150年もさらに輝くことのできる病院に育てていかねばなりません。そのためには、何より職員が誇りとやりがいをもって働ける場であることが大切と考え、皆で心ひとつに、より良い環境づくりに取り組みます。元々浅学非才の身ではございますが、同窓会の先生方には、尚一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 最終講義

### 小児病態学

下条 直樹 教授  
日時 令和2年9月8日(火)  
場所 医学部附属病院ガーネットホール(3階)  
演題 小児科医40年の臨床と研究を振り返って  
―次世代に伝えたいこと―  
\*詳細等は小児病態学ホームページでご確認ください。  
(<https://www.m.chiba-u.jp/dept/pediatrics/>)

## 人事異動

- |  |  |  |
|--|--|--|
| <p><b>教授</b><br/>小児外科学<br/>菱木 知郎(平5)<br/>(国立成育医療研究センターより)<br/>公衆衛生学<br/>尾内 善広(大阪大・平6)<br/>(同准教授より)<br/>耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学<br/>花澤 豊行(平元)<br/>(同准教授より)</p> | <p><b>准教授</b><br/>薬理学<br/>橋本 弘史(産医大・平12)<br/>(獨協医科大学准教授より)<br/>救急集中治療医学<br/>安部 隆三(平11)<br/>(附属病院講師より)<br/>耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学<br/>米倉 修二(熊本大・平12)<br/>(附属病院講師より)<br/>小児外科<br/>照井 慶太(平10)<br/>(同講師より)</p> | <p><b>講師</b><br/>画像診断・放射線腫瘍学<br/>横田 元(平17)<br/>(同助教より)<br/>分子腫瘍学<br/>星居 孝之(近畿大・平14)<br/>(イノベーション医学助教より)<br/>長寿医学<br/>中西 未央(東京大・平15)<br/>(マクマスター大学より)<br/>医学教育学<br/>横尾 英孝(平17)<br/>(附属病院助教より)<br/>糖尿病・代謝・内分泌内科<br/>小出 尚史(福井大・平11)<br/>(同助教より)<br/>呼吸器内科<br/>岩澤俊一郎(平14)<br/>(寄附講座特任准教授より)<br/>循環器内科<br/>近藤 祐介(北里大・平18)<br/>(医学研究特任助教より)<br/>高岡 浩之(平14)<br/>(同助教より)</p> |
|--|--|--|

- |  |   |  |
|--|---|--|
| <p>肝胆脾外科<br/>高野 重昭(平9)<br/>(医学研究院助教より)<br/>泌尿器科<br/>今村 有佑(平16)<br/>(医学研究院助教より)<br/>皮膚科<br/>猪爪 隆史(山梨医大・平10)<br/>(山梨大医講師より)<br/>小児外科<br/>中田 光政(平12)<br/>(同助教より)<br/>人工腎臓部<br/>服部 憲幸(平14)<br/>(同助教より)<br/>冠動脈疾患治療部<br/>北原 秀喜(平14)<br/>(循環器内科助教より)</p> | <p>他大学教授<br/>北里大学病院<br/>乳腺・甲状腺外科<br/>三階 貴史(平8)<br/>国際医療福祉大学成田病院<br/>循環器内科<br/>館野 馨(平7)<br/>呼吸器内科<br/>寺田 二郎(平21院)<br/>獨協医科大学<br/>埼玉医療センター<br/>外科<br/>吉富 秀幸(平2)</p> | <p><b>病院長</b><br/>国際医療福祉大学成田病院<br/>宮崎 勝(昭50)<br/>香取・おみがわ医療センター<br/>桑原 憲一(信州大・平元)</p> |
|--|---|--|



# 教授就任挨拶

## 千葉大学大学院医学研究院

### 耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学 教授

花澤 豊 行 (平元)



令和2年2月1日付けで千葉大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学の教授を拝命致しました。

私は、平成元年(1989年)に千葉大学医学部を卒業後、金子敏郎教授が主宰される耳鼻咽喉科学に入学致しました。そして、一般病院での研修を修了した後、1991年に大学院生として当時の第三解剖学教室の千葉胤道教授にご指導頂き、鼻粘膜における「酸化窒素(NO) 作動性神経」の存在を追求し、更に当時の高次神経分野の木村定雄教授の下で「ZO作動神経」の薬理的機能を研究させて頂きました。大学院修了後は鼻腔に産生されている「ZO」の役割を更に追及したく、1998年にロンドンのイン

ペリアルカレッジの呼吸器内科PJ Barnes教授に手紙を書き、二年間の留学生生活の後に千葉大学に戻って参りました。大学に戻りますと、今野昭義教授の退官を間近に控えていたため、執刀される頭頸部腫瘍手術の全てを盗み取るように学び、現在も手術に活かしています。特に私が進めているのは、内視鏡を用いた鼻副鼻腔悪性腫瘍に対する前頭蓋底手術です。従来の開頭での腫瘍切除術は出血量も多く、また手術時間も15時間近くを要し、侵襲の極めて大きな手術でありましたが、内視鏡下手術は7時間程度で済み、侵襲も少ないため高齢の患者さんにも適応でき、2週間程での退院が可能となります。本術式の習得には、前任の脳神経外科教授佐伯直勝先生に同行したイタリアでの2日間の手術見学がきっかけであり、色々な先生方との出会いが研究や診療の新たな起点となっ

て成長できたのだと心から有り難く感じています。本術式を行える施設は本邦では未だ少なく、今後更に広めなければと考えています。また、研究においては、機能ゲノム学の関直彦准教授と共に頭頸部扁平上皮癌における癌遺伝子の機能解析を行っています。癌細胞から産生される二十塩基程度のマイクロRNAという核酸に着目していますが、これはタンパク質をコードしない代わりに、がん細胞の増殖や浸潤能を調整する機能を有しています。舌癌や咽頭癌においてこのマイクロRNAを基軸とした分子ネットワークを解明することで新たな治療薬の開発を目指し、若い先生達と共に研究を進めています。

この教室に入局してから既に31年が過ぎました。いつかは今野教授や岡本美孝教授のような一流の頭頸部外科医になるのだと、剣道部で培った体力と根性だけで突き進んで参りましたが、まだまだそこに到達することとできていません。しかし、少しでも後輩達の目標となれるよう、更に精進しなければと考えています。また、手術だけでは治すことができない頭頸部癌の患者さんに、より根治性の高

い治療が提供できるよう後輩と協力し、新たな治療法・治療薬を生み出す努力を継続するつもりです。

私は千葉県山武市の成東高校の出身であります。千葉県のためだけではなく、本邦そして世界に向けた新

## 千葉大学大学院医学研究院

### 小児外科学 教授

菱 木 知 郎 (平5)



2020年1月1日付で千葉大学大学院医学研究院小児外科学教授を拝命いたしました。私は1993年に千葉大学医学部を卒業し、高橋英世教授の率いる千葉大学小児外科学教室に入局しました。「患者から学べ。患者が答えを導いてくれる」[Get an answer from the patient] (考える道)を大切にせよ」という高橋先生の教えは直球で私の心に響き、今でも自分の医師としての姿勢のバックボーンになっています。

大学院では千葉県がセンターの中川原章先生に師事し、神経芽腫のシグナル

たな医療をこの千葉大学から発信できるよう今後も努力する所存です。千葉大学の先生方、OBの皆様にはこれからも変わらぬご指導とご支援を頂戴できますよう心よりお願い申し上げます。

伝達に関するトランスレーショナルリサーチに取り組みさせていただきました。さらに2000年からはそれを発展させる形でフィラデルフィア小児病院に研究留学する機会をいただき、診療と研究の双方で世界をリードする医師たちの姿をみて臨床医としてリサーチマインドを持ち続けることの重要性を学びました。

打ちのめされることもあり、楽しい思い出ばかりではない10年余りでした。しかし真の意味で患者に寄り添うとはどういうことなのかを常に考えることで幾ばくかの成長が得られた時間でもあったと思います。

2016年には国立がん研究センター・国立成育医療研究センターのふたつのナショナルセンターにクロスアポイントメントで赴任し、両施設で小児腫瘍外科部門の新設を任せていただきました。小児がんに特化した外科部門は全国でも唯一無二で、手探り状態での立ち上げとなりましたが、周囲の方々が温かく手を差し伸べてくださったおかげで手術症例数は倍近くになり、全国指折りの小児がん治療ユニットの発展に微力ながら貢献できたのではないかと思います。

一方、小児外科は単独では成り立ち得ない領域でもあります。小児外科は扱う臓器も多いうえ、疾患も多岐にわたります。診療のさまざまな局面で各臓器を扱う成人各診療科と連携することで、より高度な医療の提供が可能になります。また、共にライフステージの始まりの部分を支える同士である小児科・産科の先生方とは垣根のない密な連携がたいへん重要です。さらに、小児外科学の新しい知見を得る研究には基礎系領域とのコラボレーションも必須です。同窓の先生方には、今後ともより一層の指導を賜りますようお願い申し上げます。



### 千葉大学大学院医学研究院

公衆衛生学 教授

尾内 善 広 (大阪大・平6)



令和2年3月1日付で公衆衛生学教室教授に就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

私は平成6年に大阪大学を卒業し小児科医として研修を行った後に、人類遺伝学の研究の道に進みました。学位を取得後、東京大学医学研究所と横浜の理化学研究所を経て、平成23年から今日まで本学の公衆衛生学教室に在籍してまいりました。前任者の羽田明名を教授とは、当時リーダーを兼任されていた理研の研究室に、平成14年に研究員として採用いただいてよりのご縁となります。

特に力を注いできた研究テーマは、大学院生時代から続く川崎病に関するもので、遺伝学、疫学の研究手法を用いて、発症や重症化のリスク因子となる遺伝子バリエーションを見出すことで

す。本学に参りましてからは、関連を見出した遺伝子から注目したシクロスポリンが川崎病の最大の問題である冠動脈病変の抑制に効果的であることを医師主導治験で確認し、2月の保険適用承認へと結びつけることができました。小児科学教室と臨床試験部および全国の医療機関と力を合わせて、それまでの基礎研究の成果を臨床へと還元することができたことと、川崎病を見出した川崎富作先生の母校において教授として働く機会を与えられたことに感謝しています。

今後は千葉大学が世界の川崎病研究の中心となるよう原因究明、予防や精密医療の実現に向けてさらに進めるとともに、川崎病研究で得た経験を他の多因子疾患の研究に役立てていきたいと考えています。千葉県内の死亡原因に占める生活習慣病の割合は50%強と全国平均と比べやや高い水準にあります。健康寿命の延伸、医療費の抑制には生活習慣病の予防が鍵を握ることは

言うまでもありません。近年生活習慣病の発症リスクをポリジェニックスコアにより評価し、メンデル遺伝病に近いハイリスク保有者を予想することが可能になりつつありますので、健康(検)診データと組み合わせるその実用性を更に高めるような方向性を探していきたいと考えています。

### 千葉大学大学院医学研究院

救急集中治療医学 教授

中田 孝 明 (平11)



2019年12月に千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学の教授を拝命いたしました。

私は1999年に千葉大学医学部を卒業後、救急集中治療医学に入学し、平澤博之先生のご指導の下、救急集中治療医学の臨床と研究を開始しました。2002年に大学院に入学し、分子生物学的手法などの基礎研究の指導を受け、敗血

症と遺伝子多型をテーマに研究を行いました。2008年にはカナダのプリティッシュコロンビア大学に留学し、Keith Walley先生、James Russell先生から clinician-scientist として translational research への取り組み方を教わり、バンクーバーの豊かな自然の中で同テーマに関する研究をさらに深めることができました。3年半後の2011年に帰国し、織田成人先生のご指導を受けると同時に、後進の医師、研究者を指導する機会をいただき、積極的に研究を展開してきました。

サイエンスの道は厳しいですが、その先にある驚きや喜びを学生、スタッフと共有できる教室にしていきたいと考えております。未熟ではありますが、研究、教育に精一杯努力いたします。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

染に対する調節不全の生体反応を原因とし生命をおびやかす急性臓器障害と定義され、救急医学・集中治療医学の最重要課題であるゆえに、興味を持って若い頃から研究に取り組んできました。2017年、敗血症はWHOにより「世界が取り組むべき課題」に指定され、国際的にもさらなる研究が必要とされています。敗血症の中でも特に遺伝子多型に関する研究は、博士課程から現在まで私が15年間にわたって取り組んでいる主要テーマです。敗血症の転帰は遺伝的素因の影響を受け、それが明らかとなっており、遺伝的素因を加味した個別化医療を実現したいと思っております。また敗血症の病態生理のさらなる解明と新規治療法の開発にも注力したいと思っております。

敗血症のほかに、集中治療医学分野では人工臓器や重症患者管理に関する研究を、救急医学分野では病院前救急医療、外傷、外科、中毒、災害医療、心停止、院内急変対応に関する研究を行っております。最近、日本研究医療開発機構 (AMED) の研究として、病院前救急医療の最適化を目指したプロジェクト (Smart19) に取り組んでおり、脳卒中・心筋梗塞・敗血症の病院前予測診断アルゴリズムや、ICUや音声認識などの新技術を用いた情報システム、新規の生体情報装置開発を行っております。今後は研究成果を社会実装し、臨床現場に役立てたいと思っております。

診療に関しては、千葉市内・県内の救急医療機関での救急集中治療の診療に加え、2013年から2015年の間日本を代表する外傷センターである大阪府泉州救命救急センターでも研究を積んでまいりました。当院の高度専門治療の推進と先進的医療の開発、各診療科の高度医療をサポートする集中治療の強化を目指していきたいと思っております。また現在亥鼻キャンパスでは、病院横にあたる旧野球場、グラウンド跡に新中央診療棟の建設が行われており、1年後に救命救急センターの開設が予定されています。救命救急センターに搬入される重症患者に対しては、関連する複数の診療科・多職種が協働してチーム医療を展開する必要があります。私たちの教室では開設にむけて救急医・医療従事者の育成に力を入れています。

テクノロジーの進化を受け、医学・医療の進歩は益々加速しています。臨床現場の課題を見出し、自ら調べ、考え、解決に向かって行動し、一緒に楽しく未来の救急・集中治療を目指していきたいと考えています。同窓会の先生方には、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

叙勲、褒章その他祝事に関係された方は是非同窓会事務局まで一報下さい。編集部でも絶えず注意しておりますが、ニュースに接し得ない事態もあります。お喜びはなるべく早く、同窓の皆様にもお分けしたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。



### 北里大学医学部

#### 乳腺・甲状腺外科学 主任教授



三階 貴史 (平8)

この度、2020年1月1日付で北里大学医学部乳腺・甲状腺外科学主任教授を拝命致しました。私は1996年に千葉大学医学部を卒業後、千葉大学第一外科学教室中島伸之教授(現：臓器制御外科学大塚将之教授)に入局し、大学病院で約1年間、千葉県内外で5年間、一般外科医として急性期医療から在宅診療まで研修させて頂きました。どの病院でも先輩方には優しく御指導頂き、いままい出しても実に充実した毎日でした。しかし一般外科研修を終え、乳癌の手術をさせて頂く機会が一番多かった半面治療方針の立て方は自分にとって難解であったことや、他の固形癌に先駆けて分子標的薬の使用が開始された乳癌の研究に興味を持ったことから、宮崎勝教授(現：国際医療福祉大学副学長)

率いる教室に戻り、千葉大学大学院へ入学すると同時に乳腺・甲状腺グループに入れて頂き、2002年から2年間、国立がんセンター研究所支所で落合淳志先生(現：国立がん研究センター先端医療開発センター長)、石井源一郎先生(現：同臨床腫瘍病理解分野長)の指導のもと、癌と間質の相互作用について研究を行いました。基礎科学の素養がなかった私は、実験や研究の前に科学的なものの考え方から徹底的に鍛えて頂いたお陰で世界観が変わり、大学で研究を続けたいと思うようになりました。2009年からMDアンダーソンキャンサーセンター(ヒューストン)に留学する機会を得て、Prof. Funda Meric-Bernstam(メリック)で、分子標的薬のバイオマーカー探索を中心に研究に没頭しました。新薬を臨床に届ける最前線で、研究開発競争の激しさを体験し、改めて道の険しさを感じることも、academic surgeonとして生きる覚悟を決め、2012年に帰国して

以降、千葉大学病院に勤務致しました。千葉大学病院では長嶋健先生(手術部長、プレストセンター長)指揮のもと、乳房再建やリンパ浮腫から薬物療法の副作用マネージメントまで、包括的に乳癌患者さんを診るためのプレストセンターの立ち上げや、乳腺外科医を志す人材の育成に携わって参りました。北里大学の乳腺・甲状腺外科学はそれまで1つであった外科学が渡邊昌彦教授の退任に伴い、4単位に分割されてきた新しい講座ですが、北里大学病院ではこれまでも5名のスタッフで年間乳癌手術約300例、甲状腺手術約200例をこなしています。この度大塚将之教授、宮崎勝教授にも背中を押して頂き、ここに私も加わることになりましたが、千葉大学と同様、北里大学医学部も政令指定都市である相模原市にあると同時に、隣接する町村を含めた県央の地域医療を担う必要があります。外科医不足の昨今、道は平坦ではありませんが、私自身が絶えず研鑽を積んで成長するとともに、教室が神奈川県のみならず日本の乳腺・甲状腺外科を牽引していくようになる事を目指して精進

して参りたいと考えております。多くの同窓の先生方に頂いたこれまでのご厚情に心から御礼申し上げます

### 千葉県職員人事異動

- がんセンター 飯笹 俊彦(群馬大・昭59) 病院長(医療局長)
- 高山 亘(昭60) 医療局長(医療局診療部)
- 田中 尚武(昭59) 診療部長(婦人科部長)
- 行木 瑞雄(金沢大・平5) 循環器内科部長(新採)
- 菅原 武明(平10) 感染管理部長(主任医長)
- 佐々原 剛(弘前大) 主任医長(医長)
- 鴨田 博人(平10) 主任医長(新採)
- こども病院 中島 弘道(昭58) 副病院長(医療局長)
- 皆川 真規(平元) 医療局長(診療部長)
- 星野 直(京都府立大・平8) 診療部長(感染症科部長)
- 齋藤 武(平6) 小児外科部長(新採)
- 光永 哲也(筑波大・平11) 主任医長(小児外科部長)

とともに、今後一層のご指導、ご鞭撻とお力添えを賜ります様どうぞ宜しくお願い致します。

### 循環器病センター

- 岡嶋 良知(昭58) 副病院長(医療局長)
- 中村 精岳(昭和大・昭60) 医療局長(診療部長)
- 井上 寿久(昭63) 診療部長(循環器科部長)
- 伊藤 良浩(平16) 主任医長(医長)
- 武智 史恵(平15) 主任医長(医長)
- 救急医療センター 笹原資太郎(平14) 形成外科部長(主任医長)

佐原病院 田中 武継(滋賀医大・昭59) 診療部長(新採)

### 千葉県職員より退職

- 矢島 鉄也(昭57) 病院長
- 山口 武人(昭56) がんセンター病院長
- 吉永 勝訓(昭55) 健康福祉部技監
- 伊藤 千秋(昭55) こども病院副病院長
- 峯 清一郎(昭55) 循環器病センター副病院長
- 林田 直樹(愛媛大・昭54) 循環器病センター診療部長

栢沢 政司(平15) 循環器病センター主任医長

### 千葉市職員人事異動

- 病院長 寺井 勝(昭53) 病院事業管理者
- 市立海浜病院長事務取扱(市立海浜病院長) 齋藤 康(新潟大・昭43) 病院事業管理者



2020年 第45回  
**みのはな美術展**  
—千葉大学医学部OBによる美術展—

9月14日(月)~9月20日(日)  
AM11:00~PM6:00 最終日4時

初秋の候、益々御清栄のこととお慶び申し上げます。例年通り下記の会場で、第45回展を開催いたします。ご多用中恐縮ながら何卒ご高覧賜りたくご案内申し上げます。

銀座 **ギャラリー向日葵**  
〒104-0061 東京都中央区銀座5-9-13 銀座菊正ビル2F  
TEL:03-3573-1680



受章の挨拶

瑞宝中綬章

瑞宝中綬章を受章して



鈴木 一郎 (昭42)

令和元年秋の叙勲にて、瑞宝中綬章の栄に浴し感激しております。令和元年12月13日、厚生労働省にて加藤勝信厚生労働相から勲記、勲章の伝達を受け、勲章を胸に家内とともに皇居豊明殿に参内し、天皇陛下よりお言葉を賜りました。このたびの受章に際して多くの方から温かいご祝意をいただきあらためてこの受章の重さを感じております。

わたしは昭和42年に千葉大学を卒業し、国立東京第一病院での二年間のインターンを経て、昭和43年に千葉大学第一外科(綿貫重雄教授)に入局しました。綿貫先生をはじめ諸先輩から外科医としての基本的な技術、心構えを教えていただき、昭和51年に国立千葉病院外科に赴任しました。それか

退官後は当時の藤森宗徳千葉県医師会会長のお誘いで千葉県医師会副会長を務めさせていただきました。また平成20年の9月には船橋市病院局参与に、21年4月から船橋市立医療センター事業管理者に任用され、9年間、病院の経営にたずさわることができました。改めて振り返りますと、

瑞宝小綬章

瑞宝小綬章を受章して



西島 浩 (昭44)

私は昭和44年に千葉大学医学部を卒業し、昭和45年1月から千葉大学附属病院で第一外科と第二外科で研修医を過ごした後、昭和46年第二外科(佐藤博教授)に入局しました。先輩方から消化器外科の基礎と手術法を指導して頂き外科医として育つことができました。研究室は移植班に属し岩崎洋治先生の下で腎移植の臨床に参加しました。研究は腎移植後拒絶反応の病理学

好きな外科手術に夢中になつていくうちに、国の病院の経営、医療行政の世界、そして自治体病院の改革と次々新しい舞台を与えていただき、この度は栄えある瑞宝中綬章を受けることができました。幸いまだ健康です。これまでの経験を活かし少しでも地域医療のお役に立てればと思っております。

私は昭和44年に千葉大学医学部を卒業し、昭和45年1月から千葉大学附属病院で第一外科と第二外科で研修医を過ごした後、昭和46年第二外科(佐藤博教授)に入局しました。先輩方から消化器外科の基礎と手術法を指導して頂き外科医として育つことができました。研究室は移植班に属し岩崎洋治先生の下で腎移植の臨床に参加しました。研究は腎移植後拒絶反応の病理学

てくれる時代もありました。平成12年4月嶋田俊恒院長の後任として千葉社会保険病院院長に就任致しました。病院長2年目の時に社会保険病院のあり方見直し論が起こり、経営の安定しない病院には厳しい状況が続きました。その後社会保険庁が廃止されるため、社会保険病院を統括する全国社会保険協会連合会が消失することになり、自民党議員のなかには社会保険病院は売却すべきという意見の人もいました。地元選出の国会議員に社会保険病院の存続

旭日双光章  
思いがけない受章

浅野 尚 (昭38)



世の中には時に思いもしないことが起こるものです。此度の叙勲については、私自身全く考えてもいなかったことで、大変驚いています。

私は、地元佐原中学校から当時の千葉第一高等学校、千葉大学医学部へと進み、

を陳情に院長と事務長で議員会館まで何回も出かけました。民主党政権の時に正式に存続が決まり安堵しました。院長を13年間務めた後、平成25年に退任し、現在名誉院長として名前が変わった地域医療機能推進機構千葉病院に勤務しています。13年間の院長時代は謝罪会見を一度もすること無く病院運営が円滑にできたことが、叙勲の対象となった理由だと思います。病院職員が多々大ご支援に対し深く感謝申し上げます。

又、任意団体としての地区医師会にとつて、会員夫々の社会貢献を支援すると共に、会員相互の発展に寄与することは、併にしなければならぬ必要事項であるとの考えに基づき、会員に対して、地区医師会長として知り得た限りの情報提供に努めて参りました。

昭和38(1963)年に卒業しました。その後、二年間のインターンを経て千葉大学耳鼻咽喉科(北村武教授)大学院に入り、昭和43(1968)年に修了しました。そして昭和49(1974)年に佐原市(現香取市)で父の後を継いで開業しました。大学時代の私達のクラスは、お互いの自主性を最大限尊重し、互いに理解し、助け合うクラスでした。60年安保の時は、多くの同級

生が参加し、行動を共にしました。その結果、お互いの絆を深めたように思います。毎年秋季には、最近では主に東京を会場に同窓会を開き、互いの近況を確かめ合い、健康を励まし合っています。

私の今度の受章の理由があるとすれば、学校保健と医師会活動かも知れません。武見太郎元日本医師会会長の「学校保健は地域医療の核である」という考えは正しく、学校保健を通して、将来の国の担い手である児童生徒の成長を支援することとは、私達医師にとつて非常に重要な責務だと考えます。その思いから、学校医として学校行事、特に学校保健委員会や入学式、卒業式には出来る限り参加してきました。

私達千葉大学医学部は、明治7年の「共立病院」の創立以来、今年で147年になります。これ程古い伝



統を持つ大学は日本では京都府立医科大学以外にはありません。このことは大いに誇りにしてよいと思います。

私達はこの伝統を大切に、その歴史から多くのことを学ぶと共に、更に将来に向かつて発展させるべく、これからも努力し続けなければならぬと考えています。

今後共、会員の先生方の御指導を何卒お願い申し上げます。

### 第8回日本医学ジャーナリスト協会賞・大賞を受賞して

松 永 正 訓 (昭62)



日本医学ジャーナリスト協会賞は2012年に、日本医学ジャーナリスト協会が、質の高い医学・医療ジャーナリズムが日本に根付くことを願って創設した賞です。今回が8回目になります。「オリエナリテイ」「社会へのインパクト」「科学性」「表現力」が選考基準になっているようです。

年度によって受賞作の数

げます。

終わりに、此度の叙勲に際し、千葉県医師会、香取郡市医師会の方々から格別のご配慮を賜り、心から深く感謝すると共に、厚く御礼申し上げます。

又、地元歯科医師会、薬剤師会をはじめ、日本耳鼻咽喉科学会千葉県地方部会、千葉大学耳鼻咽喉科同門会のお心遣いに深謝いたします。

が変わりますが、今回は受賞作を厳選し、大賞一つ、優秀賞3つに絞り込んだとのこと。

私は2018年秋に『発達障害に生まれて 自閉症児と母の17年』（中央公論新社）という本を上梓しました。たちまち増刷となり、読者から必要とされている本だと実感しました。

中央公論の編集者と相談をして、ぜひ日本医学ジャーナリスト協会賞に応募しようと思った。この賞はこれまででも良質な受賞作を多数生み出しているから、大賞は無理だとしても、

受賞の端っこに引っつかかれ、ばうれしいという気持ちで、ところが結果は大賞の単独受賞でした。驚いたのは、3つの優秀賞作品のクオリティが高かったことです。

ZEN「プロフェッショナル仕事の流儀」ディレクターの大野兼司さん、読売新聞社会部取材班、テレビ金沢取材班が受賞されていました。

私の作品は言ってみれば筆一本、ICレコーダー1個で作られたようなものです。選考理由には、私が過去に書いた作品群に、医の原点・命への畏敬があり、真の啓発書・異文化への入門書になっていくこともあげられていました。

大賞受賞の報を聞いて私は家族と大喜びしました。そしてそれ以上に喜んでくれたのは中央公論新社の編集部です。個人の作家が組織ジャーナリズムを上回るなどというのは常識では考えられないそうです。

授賞式の様子はZENのニュースでも流され、開業医仲間や旧知の編集者からお祝いの声や品物が届きました。講談社さんからは立派な花束が自宅に届きました。褒められればうれしいものです。2020年ももう少し書いてみようと思っています。

### 第114回医師国家試験成績

試験日	令和2年2月8日(土)	9日(日)
合格発表	令和2年3月16日(月)	
受験者	134名(新卒者 124名)	
合格者	129名 合格率 96.3%	(新卒者121名 合格率 97.6%)
参考	国立	合格者 5,011名 合格率 92.8%
	全国	合格者 9,341名 合格率 92.1%



国立大学法人千葉大学  
医学部ホームページより

### 永年勤続表彰及び辞令交付を行いました

千葉大学医学部では、令和2年3月25日に今年度末をもって定年退職される巽浩一郎教授、丹沢秀樹教授、下条直樹教授の永年勤続表彰及び辞令交付が行われました。中山俊憲医学研究院長から表彰状の授与及び辞令交付が行われた後、永年の教育研究へのご尽力に対し、感謝の意が述べられました。



巽 浩一郎教授 中山俊憲医学研究院長



丹沢秀樹教授



下条直樹教授



最終講義

Inspire the Next!

研究マインドを持った呼吸器臨床

異 浩一郎 (昭54)



「挨拶とお礼 これまでの数えきれない素晴らしい方々との出会いと、やり甲斐のある仕事に恵まれ、大学人として幸せな日々を過ごすことができました。勿論、紆余曲折があり、多くの小さな挫折を繰り返しながら懸命に生きてきた若い頃があり、大学の集大成として運よく教授となり、呼吸器内科学教室の発展に努力してきました。」

「Inspire the Next」研究マインドを持った呼吸器臨床」を選びました。詳細は千葉医学96巻3・4号(令和2年8月発行予定)の「最終講義」に書かせていただきます。

昭和48年 国立大学一期校

千葉大学医学部・大学院医学研究院、そして附属病院の片隅に座らせていただき、皆様からの多大なご支援を賜り、自らが成長できた素晴らしい仕事をする事ができたと思っております。この世に生まれて、千葉大学医学部に入学・卒業、そして「人の中にあり

て、皆様の誰一人との出会いが無かったら今の私は存在していなかった、2020年2月19日の最終講義をすることはなかった。感謝の気持ちで一杯です。るのはな同窓会の皆様方に心より御礼申し上げます。

た。クラブ活動で玄鼻に行くと、現在の医学部本館が病院および医局であった。医学部本館は消毒液クレゾールの匂いが漂っていた。将来、こんな場所で働くのかなという漠然とした不安感の様なものを感じた。学友は高い志を持っていた人もいたのかもしれないが、この当時、医師は何をする人なのかのイメージがそれほど強くなく、医学(人間)を勉強するために医学部進学課程に入学した。この当時、将来お世話になる呼吸

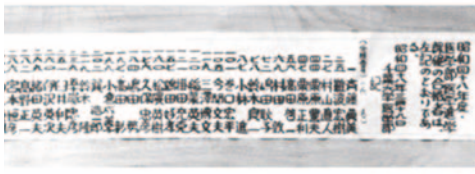
器内科は医学部本館の中にはなかった。離れの香月ハウス(附属肺がん研究施設)の片隅に教授室があった。病室も医学部本館になく、離れのバラックの中にあつた。当時は全く知らなかったが、後日この様に伝え聞いている。

があるのではないかと、という趣旨であった。安間先生におめにかかったのはそれきりであったが、先生より教えていただいた疾病観が漢方の師匠を導いてくれたと思う。

を科学的に位置付け、スタンダードな治療法として確立させるために努力した。そこには生涯かけて漢方医学に取り組んでおられた恩師への敬意が常にあつたと思う。

Table with columns for '国立大学一期校入学競争率' and '昨年並みの競争率'.

昭和48年 国立大学一期校 千葉大学医学部進学課程 12.6倍



昭和48年 千葉大学入学当時の西千葉駅

「病氣は人間にとって、或る種の安らぎであり、フレンドである。西洋医学の価値判断に盲従し、病氣は何が何でも治すべきであり、病氣なるものを悪鬼を追い払う様に駆逐すること至上使命であると考えてきた私も医師にとって、冷静に、生命、病氣、死、治療の意味をそれぞれ原点に立ち返って熟考する必要

その後アカデミアの中で医師人生の大半を過ごすことになった。アカデミアとは医療・医学を科学で証明する、研究成果の創出が必須な世界である。

現在の医学部教育体制は学生に教え過ぎたこと反省から、一部は自己学習への切替になっている。現時点で千葉大学医学部の教授職に就いておられる先生方を含めて、同世代の先生方の学生時代は今の学生ほど勉学に打ち込んで来なかったのではないかと。医学部教官数も少なかった様に思うが、臨床実習(現在の〇〇)も臨床見学であったような記憶がある。自己学習で国





昭和54年 千葉大学医学部卒業



PCもない、インターネットもない、携帯スマホもない時代

あつたはずである。日本語の医学雑誌はそれほど多くなかった。私の学生時代に医学雑誌論文をCOPYして読んだはずである、この程度である。

サイレント・マイノリティ「ローマ人の物語」で有名な塩野七生氏の政治的・思想的な短編随筆集に「サイレント・マイノリティ」がある。示唆に富む言葉が多く引用されている。人は恩を受けた人に対するよりも敵にしては損だと思ふ人間の方に忠誠を守るものである。思慮深い人ならば、人の一生について運が絶大な力を持つものだという事は否定しないだろう。きみ自身の能力を正当に認められる時代にたまたま生を受けたという事実。これこそ幸運と呼ぶにふさわしい。一人の馬鹿は、一人の馬鹿である。二人の馬鹿は、二人の馬鹿である。一万人の馬鹿は、歴史的な力である。

みずからの置かれた状況を冷静に把握し、果たすべき役割を完璧に遂行する。しかも皮相で浅薄な価値観に捉われることなく、すべてを醒めた眼で、相対的に見ることが出来る人間になれるのであれば、人生楽に生きられる。

運良く呼吸器内科の教授になったが、サイレント・マイノリティから脱する能力と運は無かった。千葉大学医学部の教授に就任できるのは、全国医学部卒業生の中のごく一部であることを考えると、極めて幸運なことである。しかし何か仕事をやるにしても決して一人ではできない。一つの組織をある方向性で運営していくためには、サイレント・マイノリティ集団でありながら、多才な医局員の能力を最大限に活かすには、人と人との連携、ヒューマンチェーンの形成が必要であった。

専門医になるにはガイドラインを学べば良い。医学生であればこれで問題なし。しかし「ガイドラインに書いてある」は思考停止である。医師免許を取得したのであれば、アカデミアである大学で臨床・研究に従事しているのであれば、「ガイドラインに書いてあることの意味」を問わなければ、知的行為とはいえない。のはな同窓会の皆様が、千葉大学から世界に向けてのサイエンスの発信を続けていただければと祈念して筆を置く。

おわりに

### 栃木県のはな会 令和2年 第17号

## とちぎ むのはな

令和2年 第17号



栃木県のはな会

千葉大学医学部むのはな同窓会栃木県支部

### とちぎ むのはな 第17号

#### 目次

巻頭言	十川 康弘 (昭55卒)	1
総 論		
令和元年度 栃木県のはな会 総会プログラム	森本 直樹 (平3卒)	3
令和元年 会計報告	戸邊 豊純 (平1卒)、齋藤弘司 (昭43卒)	4
監査報告	戸邊 豊純 (平1卒)、齋藤弘司 (昭43卒)	4
総会写真		5
特別講演		
福内昭尚義と健康・疾患	大野 博司 (昭58卒)	11
関連病院だより		
自治医科大学	川平 洋 (平4卒)	13
獨協医科大学病院	藤田 雄治 (平23卒)	15
上野原総合病院	十川 康弘 (昭55卒)	17
獨協医科大学病院の近況	鎌田 智彦 (平25卒)	18
とちぎメディカルセンターしもつが	村野 俊一 (昭50卒)	20
済生会宇都宮病院	戸邊 豊純 (平1卒)	22
エッセイ		
66歳の手習い	須田 啓一 (昭52卒)	24
私の近況	本多 陸人 (昭42卒)	25
雑 感	吉住 博明 (平1卒)	27
開業医からみた新型コロナ	穴戸 忠孝 (平8卒)	29
卒延生の医学教育	崎尾 秀彰 (昭44卒)	31
友誼写真・編集後記		35
会員名簿		36
栃木県のはな会 会則		39



# 各地のほな会 だより

## 埼玉のほな会

令和元年10月27日(日)  
にのほな同窓会埼玉支部  
総会がさいたま市の大宮パ  
レスホテルで開催されまし  
た。出席者は吉川廣和埼玉  
県支部会会長、中島透群馬  
のほな会副会長、星野聡  
栃木のほな会副会長、済  
陽高穂のほな同窓会会長、  
千葉大学大学院医学研究  
院分子ウイルス学白澤浩教授、  
東邦大学大学院臨床腫瘍学  
島田英昭教授、亥鼻祭実行  
委員の学生3名を含め計31  
名の総会となりました。

総会では例年通り支部会  
会長挨拶、会計報告、監査  
報告、事業報告、本部報告  
が行われました。さらに昨  
年に引き続き群馬のほな  
会が埼玉のほな会に合流  
する件につき協議され、前  
向きに検討を重ねていく事  
となりました。

特別講演ではまず島田英  
昭教授(昭59)に、「胃が  
ん治療ガイドライン」の演  
題名で、多様化する胃がん  
治療につき最新のエビデ  
ンスにもとづいての解説をし  
ていただきました。次に白  
澤浩教授(昭57)に「HPV

の生物学と千葉大医学部の  
現況と将来」の演題名でヒ  
トパピローマウイルスに関  
するレクチャーをしていた  
だき、さらに医学部本館の  
改修をふくむメモリアル事  
業の進捗状況など大学の現  
状につき解説をしていただ  
きました。

懇親会では、今年米寿を  
迎えられた北川定謙先生(昭  
31)から3人の亥鼻祭実行  
委員の学生さんまで幅広い  
年代での交流が行われ盛況  
のうち散会となりました。



写真右から  
前列・谷田部紗羅(学生)、  
中出理沙子(学生)、星野  
聡(昭43)、中島透(昭56)、  
白澤浩(昭57)、済陽高穂  
48)

中列・植松武史(昭55)、齋  
藤弘司(昭43)、木村純(昭  
49)、五月女直樹(昭49)、  
登坂薫(昭50)、三澤博文(昭  
54)、赤井壽紀(昭43)、玉  
井輝章(昭43)、野口哲夫(昭  
48)、土橋正弥(学生)  
後列・今野慎(昭62)、伊  
藤博(昭56)、林田和也(昭  
52)、吉澤卓(昭53)、得丸  
幸夫(昭53)、諏訪敏一(昭  
43)、上野泉(昭53)、中村  
勉(昭52)、神宮和彦(山  
梨医大・昭63)  
(植松武史)

## 東京のほな会

令和2年の東京のほな  
会新年会を1月11日(土)  
銀座アスター御茶ノ水賓館  
にて開催しました。会員の  
先生方にとって正月明けの週  
末連休でもあり、また様々  
な会が重なる忙しい時期で  
あるにもかかわらず多数の  
ご参加をいただき、おおい  
に親睦を深める場となりま  
した。今回は特別講演とし  
て参議院議員の武見敬三先  
生をお招きしました。武見  
先生は現在、自民党総務  
副会長、国際保険戦略特

別委員会委員長、WHOの  
DHC (Universal Health  
Coverage) 担当親善大使  
そして長崎大学客員教授な  
ど歴任され、今後の日本の  
医療行政のリーダーでもあ  
ります。いただいた講演タ  
イトルは「日本外交と保険・  
医療・介護の今日」でした  
が、とくに「活力ある健康  
長寿社会の実現」を中心に  
お話しをいただきました。平  
均寿命と健康寿命の差をい  
かに縮めていくか、高齢者と  
女性の活躍の実現、Value-  
Based Healthcareという概  
念の促進について重点が置か  
れました。東京のほな会  
会員からも多くの質問があ  
り、とても有意義な講演会  
となりました。今回は例年  
行っております複数の研修  
医の先生や都内の勤務医の  
若手スピーチの企画を組め  
ませんでした。次回は若  
手同窓スピーチ復活の予定  
です。記念写真撮影後に恒  
例の懇親会が開催されまし  
た。伊藤達雄先生乾杯発声  
の後、来賓の先生方のご挨拶  
をいただき、若手からベテ  
ランの先生まで自由にコミュ  
ニケーションのとれる場とし  
て改めて重要な会という認  
識で一致しました。



出席者  
岩倉弘毅(昭37)、小野幸雄  
(昭37)、伊藤達雄(昭42)、  
笠貫宏(昭42)、中林正雄  
(昭43)、河村弘庸(昭44)、  
石場俊太郎(昭45)、橋本  
英明(昭45)、済陽高穂(昭  
45)、櫻井幸弘(昭46)、矢  
端幸夫(昭46)、鴨下博(昭  
50)、高林克己(昭50)、  
遠藤文夫(昭52)、稲田晴生  
(昭52)、山口哲生(昭53)、  
吉原俊雄(昭53)、十川康弘  
栃木のほな会会長(昭55)、  
角田隆文(昭57)、小宮山伸  
之(昭58)、赤倉功一郎(昭  
59)、島田英昭(昭59)、窪  
田徳幸(昭60)、芹澤徹(昭



多摩ののはな会

61)、石井康宏(平元)、安西尚彦(平2)、岡本和久(平2)、小島博之(平3)、三浦文彦(平3)、井上賢治(平5)、横須賀忠(平5)、黄舜範(平6)、吉田健一(平11)、中上桂吾(平21)、吉原晋太郎(平21)、豊田幸子(平23)、小林由季(平30)(吉原俊雄)

夏の猛暑も一段落した令和元年10月19日、東京国分寺市の居酒屋「北海道」にて、第45回多摩ののはな会が開催されました。今年

谷川浩先生となられた長

幹事である上田源次郎・石川てる代の同級生の東京ののはな会会長吉原俊雄先生(昭53)も参加され、ベテランが勢揃いした賑やかな会となりました。



「高齢者医療フレイルから救急医療まで」というタイトルで高齢者の医療に関するさまざまな問題点について講演していただきました。次に東京ののはな会の吉原俊雄先生が千葉大学医学部の現状と将来の建物の構想等について講演されました。あの地区に縁遠くなったOBより活発な質疑がありました。そして会長の菊池友允先生(昭47)の開会の挨拶の後、最長老の神山守人先生(昭32)の乾杯の音頭で懇親会が始まりました。一人一人の近況報告で、まだまだ現役で活躍されている先生方が多いことを確認し、親交を深めました。宴たけなわの中、花岡建夫先生(昭33)の閉会の挨拶の後、来年の再開を約束し、散会しました。

安房ののはな会

写真右から  
前列：松原公護(昭54)、吉原俊雄(昭53)、鈴木光(昭36)、神山守人(昭32)、花岡建夫(昭33)、小山明(昭35)  
中列：菊池友允(昭47)、野本正嗣(昭54)、石川てる代(昭53)  
後列：上田源次郎(昭53)、山口哲生(昭53)、高西喜重郎(昭61)、小保内俊雅(平3)、高島常夫(昭48)、山本弘(昭39)、長谷川浩(平元)(上田源次郎)

令和元年11月27日(水)たてやま夕日海岸ホテルに於いて、安房ののはな会総会・学術講演会が開催されました。  
総会に先立って行われた幹事会で、青木謹先生より会長辞任の申し出があり、一番最後に到着した辻博勝が次期会長を仰せつかりました。  
総会では青木会長のご挨拶



辻博勝(平2)より平成30年度会計報告が行われ、原久彌先生の監査報告の後、次期会長辻博勝、副会長天野晋先生、事務局渡辺啓治先生の3名体制が承認されました。  
総会終了後、「高齢者の慢性腰痛」と題して、千葉大学大学院医学研究院整形外科学大島精司教授より御講演をいただきました。  
講演会終了後、大島先生を囲んで記念撮影を行った後、割烹「波奈」に場所を移し、情報交換会が行われました。大学病院の最新情報や、千葉市内の波奈グループの話、大島教授の肉好きの話などでおおいに盛り上がり、とても楽しい時間を過ごすことができました。

写真右から  
前列：水谷正彦(昭52)、原久彌(昭34)、青木謹(昭36)、大島精司教授(平6)、武内重樹(北里大・昭53)、渡辺啓治(昭61)、伊賀寧(聖マリア大・平2)  
後列：相正人(鳥根医大・平9)、原太郎(聖マリ医大・平3)、天野晋(平3)、辻博勝(平2)(辻博勝)

FreeStyle リブレ  
YOU CAN DO IT ANYTIME, ANYWHERE  
Abbott life. to the fullest.  
adc-cs.jp@abbott.com 0120-37-8055

お知らせ  
の は な 同 窓 会 事 務 局 で は、卒業年次別クラス名簿リスト、地域別会員リストおよび郵送用住所ラベルをご希望により作成いたします。詳細は同窓会事務局にお問い合わせください。







で汗ばむほどになり、各テ  
ブルではにぎやかな会話が  
飛び交っていました。最後  
に国際フォーラムの回廊に  
並んで記念撮影をして御開  
きとなりました。

今回の担当幹事は、安東  
昌夫氏と秋葉哲生でした。  
次回幹事は遠藤信夫氏が加  
わってくださることに  
なりました。なおクラスの常  
任幹事は、千葉次郎、山本



義一、中村孝雄、秋葉哲生  
(敬称略)です。住所変更  
などありましたら、常任幹  
事までご連絡ください。  
写真右から

前列：岩田泰子、内田宏子、  
大内美南、保阪亜莉沙、徳  
久剛史、伊藤よしみ、片桐  
博子、千見寺ひろみ  
後列：南昌平、大橋教良、  
川口英昭、金井英夫、安東  
昌夫、野口哲夫、横山淳  
一、梅田透、白井厚治、高  
圓博文、長谷部正晴、山本  
義一、野村馨、遠藤信夫、  
佐藤展将、守田政彦、高安  
賢一、竹中正治、小林道  
生、安野憲一、菊地紀夫、  
鈴木晴彦、中村孝雄、森山  
紀之、秋葉哲生、河野陽  
一、千葉次郎  
(秋葉哲生)

### 三本の指の会 (昭49)

このクラスは昭和43年に  
医学進学過程に入学し昭和  
49年に医学部を卒業したク  
ラスを主なメンバーとして  
います。しかし、このクラ  
スの在学中は学生運動が盛  
んな時期のために、進級や  
卒業が遅れることが珍しく  
ありませんでした。従いま  
して、卒業年に関わらず同  
じ時期にクラスを共にした  
仲間全員に連絡をして、旧

交を温めています。

この会の名称は「三本の  
指の会」と称していますが、  
これは、医学専門課程前半  
の頃に定期的にガリ版印刷  
して仲間同士の情報共有に  
使った新聞の名「三本の指」  
に由来しています。この新  
聞の編集を担当していた故  
山下道隆君が広島出身であ  
ったことから、「三本の指」  
を準えたことと、記事の執  
筆に3本の指を使うことか  
ら、この名称にしたと記憶  
しています。

クラスの開催に当たっ  
て、宴会の前に希望者の為  
の病院見学も企画しました。  
最近の亥鼻キャンパスは変  
容が著しく、旧テニスコー  
トが立体駐車場となり、野  
球場も増築現場となつて、  
新病院には新病棟や外来棟  
の増築されたことに加えて、  
新たに中央診療棟や医学系  
総合研究棟が建築中であり、  
完成後には連絡道路の桜並  
木や現在の医学部(旧病院・  
通称田の字)も解体される  
可能性がある状況にあるか  
らです。クラス会当日(令  
和元年9月22日)の午前11  
時前に16名が集合して、病  
院総務課の方に案内をして  
いただきました。病院内の  
「にし棟(旧入院棟)」、「ひ  
がし棟(新入院棟)や「中  
央診療棟」等の各部門や各

施設を拜見し、最後に、テ  
レビドラマのロケ現場とし  
ても見覚えのある「外来診  
療棟」を拜見しました。各  
施設の見学の後に、「ひが  
し棟」屋上のヘリポートに  
上がりました。ここは救急  
患者の空路搬送に用いる設  
備ですが、亥鼻台地上の地  
上11階ビル屋上にあるので、  
千葉市内の中心部を間近に  
見渡せ、亥鼻キャンパスの  
全容も見下せたので圧巻で  
した。特に近くで建築中の  
中央診療棟や医学総合研究  
棟の現場も見下すことがで  
きて、母校の設備が益々拡  
張してゆく様を実感するこ  
とができました。この見学  
は正午に終了し、見学者は  
タクシーにて、クラス会会  
場の京成ホテルに移動しま  
した。

クラス会の宴会は京成ホ  
テル16階の「イル・ミラマ  
レ」で開催しました。出席  
の案内に対して、返信無し  
は17名、欠席は46名、そし  
て出席は53名でした。しか  
し、体調不良や御家族の都  
合、また台風によるフライ  
ト欠航等で7名がキャンセ  
ルとなり、46名が集って旧  
交を温めました。

先ず、メンバーのほとん  
どが古希を迎えたこともあ  
り、古希のお祝いし合う  
ことで久しぶりの再会を喜  
び合いました。そして、開  
会の前に、残念ながら故人  
となられた12名の級友に哀  
悼を捧げた後に、既に記憶  
のかたに忘れかけている千  
葉大学校歌を斉唱しました。  
幹事の開会挨拶の後に、級  
友の田邊政裕名誉教授の祝  
杯で会食を開始しました。  
暫し飲食と歓談をしました  
が、念のために用意した名  
札も要らないほどに、皆お  
互いに打ち解けあつて雑談  
に花が咲きました。

途中で、過去のクラス会  
の写真をスライド映写にて  
紹介がありましたが、先ず、  
卒業10年目の昭和61年1月  
に開催した第1回クラス会  
の案内文と集合写真やスナッ  
プ写真が紹介されると、御  
参加いただいた3名の恩師  
とともに、まだ若かった級  
友の姿に歓声が上がりました。  
その後、途中の写真や記  
録が必ずしも残されていない  
ことから、少し時期が飛びま  
しましたが、幹事が個人的に所  
有していた平成6年(19  
96)の三井サンガードン  
での開催写真に続き、少し  
間が空いて、平成20年(2  
008)に東京丸の内、平  
成24年(2013)に京成  
ホテル、平成27年(201  
5)に京成ホテル、平成28  
年(2016)に隅田川ク  
ルーズで開催された写真が  
紹介されました。この頃  
になると、デジタルカメラが  
普及したため写真も鮮明で  
あることと、平成25年頃か  
らクラス会の有志によるメ  
イリングリストが開始され  
て、クラス会の写真がメイ  
リングリスト上で提供し合っ  
たこともあり、多くの写真  
が披露されました。このメ  
イリングリストは、サーバー  
運営会社の都合で利用がで  
きなくなつたために、平成  
28年頃に終了したことが残  
念です。

また、残りの料理やアル  
コール、そして歓談を楽し  
んだ後、約12名の参加者に  
近況報告をお願いしました。  
勤務医を続けながらも孫に  
囲まれて幸せそうな報告。  
非常勤医として医療を続け  
ながら保険審査やスポーツ  
に余念がない報告。他県か  
ら久しぶりのドライブで道  
に迷いながら、やっと千葉  
までたどり着いた報告。他  
県での病院勤務を終えて久  
しぶりに県内の医療に従事  
している報告。開業医を続  
けながら跡継ぎを育ててい  
る、または、跡継ぎに院長  
を任せている報告。病院長  
を定年退職して別の管理職  
に従事している報告。医療  
に従事しながら趣味を広め  
ている報告。医療の他に趣





味として山登りやジョギング、さらにはフルマラソンに挑戦している報告等々。多彩な報告が聞かれ、古希を迎えながらも、元気に医療・趣味・家族サービス・スポーツ等々に勤しみ人生をエンジョイしている報告が聞かれて、お互いに励まし合うことができました。

最後に、次会を数年以内に東京周辺で開催すべく、次の幹事が選出されましたが、次期幹事から、これまで参加できていなかった留學生のメンバーも参加できるように企画を立てたい旨の意思表示がなされて、閉

会となりました。帰りに、本日の開会直前に撮影した集合写真を配ってお待ち帰りいただきました。集合写真に写っている方々(敬称略)は、撮影に間に合わなかった2名(折居和雄、増村道雄)を除いて以下の如くです。

**写真右から**  
前列・唐澤(里見)直子、中村(沢野)文子、入江(大橋)澄子、渡辺(三井)博子、奥村俊子、西野薫、衣川直子、野村(藤江)恭子、渡辺(萩原)順子、田邊(川上)恵美子

**二列目**・酒巻(松沢)建夫、河田誠、菊池典雄、杉田洋一、小林裕夫、田中正、長谷川純、武藤高明、木村純、菅野治重、浅井隆善

**三列目**・土佐純一、山内一弘、青柳光生、五月女直樹、江原正明、山口英明、吉田良平、小出博義、館野純生、田邊政裕

**四列目**・石川隆一、北野慎一郎、高原善治、佐藤茂樹、小浜知美、保坂泰昭、伊藤国明

**最後列**・三上恵只、岩津都希雄、入江氏康、有田正明、石毛憲治、坪井秀一(菅野治重、浅井隆善)

52 会 (昭52)

令和元年11月3日、第一ホテル東京で第7回52会を開催し、36名の同級生が集まりました。52会は3年毎に開催して参りましたので、医師人生の後半を共に味わいながら語り合う性格が濃いように思います。卒業後42年経ちますので、昔ながらの言葉や物腰で語るもの、古希周辺となった円熟味が漂うようになってきたようです。

最初にこの3年間に鬼籍に入られた3名を偲んで黙祷を行いました。冒頭に幹事の古川齋君が「クラス会は構成メンバーが減ることはあっても増えない」と指摘しました通り、このところ黙祷をすることが重なっていますので一抹の寂しさを感じました。次いで五十嵐辰男が本学および亥鼻キャンパスの近況を報告しました。千葉大学全体では国際的な研究大学として頑張っていること、国立大学の中で、志願者数がトップを維持していること、および亥鼻地区の新病院・研究棟群構想と工事進捗状況をお話ししました。特にグラウンドの上のできる医学系総合研究棟には皆感慨深い



ものがありました。その後各人の近況報告を行いました。皆現役で医療に携わっている旨を伺いましたが、私的な事情も垣間見えるお話も飛び出し、それなりに盛り上がりつつありました。勤務医であれば

定年を過ぎていきますので、現場撤収を模索するお話や、今後の生き方に関するお話が多いように感じましたが、皆学生時代の個性そのままの人生を歩んできたわけですので、今後そのスタイルを貫くように思われまし

た。体力が衰え始める年代ですので、健康維持が関心事の一つとなっております。レや山登りなどのエクササイズを行う同志が少なからずいたことは誠に喜ばしいところです。

次回は3年後の予定ですが、お互い残りの人生が少なくなってくる年齢なので、詰めた方が良いのか、思案のしどころといったところです。

52会終了後も場所を移して2次会を行いました。話には尽きることなく賑やかな会となりました。

**写真右から**  
前列・宇梶晴康、村野早苗、青柳栄一、鈴木孝雄、古川齋、水谷正彦、今泉照恵、香村衡一、五十嵐辰男、湊明、安田敏行

**後列**・小林純、木村正幸、升田吉雄、松本明石、富沢正昭、高田俊一、兵頭明夫、田中幹雄、山縣正庸、山川久美、川田崇雄、林田和也、遠藤文夫、四元徹志、尾崎正彦、磯辺啓二郎、高橋敏信、椎原秀茂、松前孝幸、稲田晴生、川俣泰男、宇田川晃一、島上実、高山順山、山田善重(五十嵐辰男)



るのほな同窓会総会中止による書面表決

同窓の先生方には平素よりご支援をいただき、心より感謝申し上げます。令和2年度6月開催の総会は中止となり、総会議案は書面表決にて行う事となりました。資料は左記をご覧くださいますようお願いいたします。令和2年度第1回理事会の書面審議議事要旨は30面に掲載しております。同封の「書面表決はがき」にお返事くださるようお願いいたします。なお、「書面表決はがき」の返信締め切りは8月11日にさせていただきます。返信のない場合は議案可とさせていただきます。書面表決の結果につきましては、8月下旬にHPに掲載いたします。ご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

書面表決資料

【第1議案】

1. 名誉会員の推薦について

内規に基づき神奈川ゐのほな会より推荐された小野田昌一氏(昭40)を名誉会員に推薦する。

2. 役員の選出について

(表1、2)

① 参与

伊藤達雄氏(昭42)

② 理事

西川哲男氏(昭47)、松前孝幸氏(昭52)、鶴田好孝氏(昭54)

③ 評議員

更科廣實氏(昭42)、大沼裕氏(平2)、吉富秀幸氏(平2)、杉田明穂氏(令

2)

右記8名を選出する。

【第2議案】

3. 年次活動について(表3)

庶務部・令和元年度の各会議開催や各支部との交流、事業部・同窓会賞の授与、同窓会報の発行、同窓サポート・プロジェクト、メモリアル事業、卒後50周年基金など

4. 令和2年度事業計画について(表4)

【第3議案】

5. 令和2年度決算について(表5)

収入は、ほぼ例年通り。卒後50周年基金として昭和44、43年卒業のクラスより

寄附があり、卒後50周年基金として積立てる。支出はメモリアル事業委員会の開催があり会議費の支出増。

岩倉弘毅会計監事(昭37)、秋葉哲生会計監事(昭50)により決算案が承認された。(表6)

6. 令和2年度予算案について(表7)

基本的には令和元年度の予算を踏襲しており、メモリアル事業費を基金より取り崩す事とする。

【第4議案】

7. 会務組織変更、それに伴う会則修正(表8)

第6章役員第13条、第8章会務第28条会則修正について

表2 令和2年度(2020年)評議員(案) 85名

Table with 5 columns: 年卒, 氏名, 年卒, 氏名, 年卒, 氏名. Lists names and graduation years of candidates for the 2020 evaluation committee.

表1 令和2年度るのほな同窓会役員(案)

Table with 2 columns: 役職, 氏名. Lists proposed officers and their names for the 2020 association.

表3 年次活動報告

Table with 2 columns: 活動内容, 実施日時. Reports on annual activities and their dates.

表4 令和2年度(2020年)事業計画(案)

- 1. 会報発行
2. 各地域ゐのほな会への支援
3. 各地域ゐのほな会(会員)・本部間の交流
4. 研究・教育助成
5. IT広報関連事業
6. メモリアル事業
7. 同窓会組織の充実
8. 同窓サポート・プロジェクト
9. その他



表5 令和元年度決算報告

Table with 4 columns: 収入の部, 支出の部, 款項目, 予算額(円), 決算額(円), 対予算額(円). Rows include 会費等, 事業収入, 他会計より受入, 寄付金, 基金より取崩し, 雑収入, 前年度繰越金受入, 収入合計, 総務費, 事業費, 事業税等, 予備費, 積立金, 次期繰越金, 支出合計.

表7 令和2年度予算

Table with 2 columns: 収入の部, 支出の部, 款項目, 予算額(円). Rows include 会費等, 事業収入, 他会計より受入, 寄付金, 基金より取崩し, 雑収入, (当期収入計), 前年度繰越金受入, 収入合計, 総務費, 事業費, 事業税等, 予備費, 積立金, 次期繰越金, 支出合計.

新型コロナウイルス感染拡大の状況に対応して予算案の変更がある場合は、総務会等により適切な変更を行うことがあります。

注1～4：収入、支出の主要細目等

Table with 5 columns: 収入の部, 支出の部, 款項目, 令和2年度予算, 令和元年度予算. Rows include 事業収入, 基金より取り崩し, 総務費, 事業費, 会議費, 人件費, その他, 会報・会誌, 学事奨励, むのほな賞, むのほな美術展, 猪之鼻奨学会, 各種助成, 附属図書館, 白衣式, 国際交流支援, ちばBCRC支援, 白菊会, 支部, 同窓サポートプロジェクト, IT関連事業費, メモリアル事業等, その他.

令和元年度会費納入率

(全体：60%)

Table with 6 columns: 学年別, 卒年, 納入率, 卒年, 納入率, 卒年, 納入率. Rows include 昭45, 昭46, 昭47, 昭48, 昭49, 昭50, 昭51, 昭52, 昭53, 昭54, 昭55, 昭56, 昭57, 昭58, 昭59, 昭60, 昭61.

表8 むのほな同窓会会務組織変更それに伴う会則修正の提案

Table with 2 columns: 新, 旧. Rows include 第6章 役員, 第13条, 第8章 会務について, 第28条, <別表>.

表6

Table with 1 column: 監査報告書. Content includes 令和元年度本会会計帳簿、証拠書類の照会監査を令和2年4月10日実施したところ、いずれも適正であることを認めました。令和2年4月10日 むのほな同窓会会長 済陽高穂様 監事 岩倉弘毅

Table with 1 column: 監査報告書. Content includes 令和元年度本会会計帳簿、証拠書類の照会監査を令和2年4月13日実施したところ、いずれも適正であることを認めました。令和2年4月13日 むのほな同窓会会長 済陽高穂様 監事 秋葉哲生

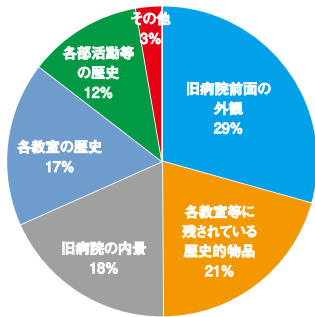




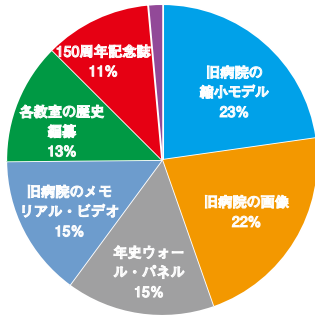
## メモリアル事業アンケート 結果報告

るのほな同窓会メモリアル事業委員会が行ったメモリアル事業に関するアンケートの結果をお知らせ致します。アンケート調査にご協力頂きました会員の皆様に感謝申し上げます。

### Q1 現医学部本館で保存を希望するもの



### Q2 メモリアルとして残して欲しいもの



## アンケート結果要約

- 旧病院の外観（1位）、歴史的物品（レガシー）（2位）を残して欲しい。
- 旧病院の縮小モデル（1位）、画像（2位）、年史パネル・ビデオ（3、4位）をメモリアルとして残して欲しい。
- 大学の歴史的物品（レガシー）は医学部新棟（1位）、記念講堂（2位）に残して欲しい。

メモリアル事業委員会 2020.2

#### 【アンケート目的】

メモリアル事業に関する会員の意見・要望調査。

#### 【アンケート期間】

2019年9月～2020年1月

#### 【調査対象】

るのほな同窓会員

#### 【調査・回収方法】

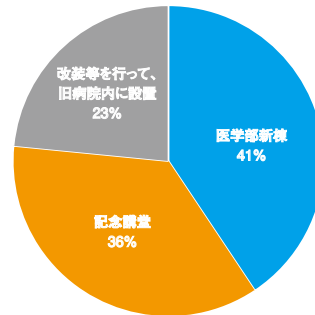
会報でのアンケート周知、Fax・インターネットでの回答

#### 【回収状況】

回答数107

(Fax: 64、インターネット: 43)

### Q3 保存・展示場所について



### メモリアル事業として行って欲しい企画案等（自由記載）

単に千葉大としてではなく、日本の「国立医学博物館」として整備して行く。

- ①新医学部棟内に旧病院の屋階講堂を再現して欲しい。そこで研究会、地方会出来るとうい。
- ②病院内にガーネットホール（大講堂）あるが、U字形のものが欲しい。メモリアルホールとして。
- ③会報発送時に「振込み用紙」を入れる。また、手軽なコンビニ振込可能なもの。
- ④若い卒業生の卒後の動静を把握できるシステムを作る。
- ④母校愛を育てるためにホームカミングパーティ以外の方策を考えよう。

DVDに撮って残しておく。

同時期に建てられた東大法文1号館は耐震化されて偉容を誇っているのに、何故旧病院の歴史的価値を壊すのか。千葉は古いものを大事にしなさい。Lobby活動してください。旧病院保存のために。

旧病院の大理石またはレンガを販売（配布）したらいかがでしょうか。

亥鼻祭実行委員会の振込はコンビニ払いなどの振込にできないでしょうか。郵便局に振込みに行くのと違い簡単にできます。いつもそれでやめています。

旧病院内のツアー  
記念品（バッジ、時計）の作製

千葉大学医学部基金（千葉大学SEEDS基金の医学部版）を作り、寄附を受付、支援を行う。税額控除に係る証明を取得しておくこと（所得控除、税額控除）

旧病院の小モデルの製造委託販売をすれば購入希望者がいるのでは？（大きさにもよりますが、10万円くらいまでなら……）

旧病院の壁のレンガ（タイル？）を記念品として使う。



メモリアルウォールに旧病院の一部“千葉大学”の銘、柱など、実物を組み込んで作成したらどうでしょう。
メモリアル事業記念絵葉書の発行等を希望します。
メモリアル事業の名称付の研究奨学金 申請者の中から当該部・教室を除く教授からなる選考委員会で1件/年決定。 金額は最低100万円を支給。
1. 亥鼻台写真・文集（旧病院の思い出を含め） 2. 千葉大学医学部発展に尽くした人物の顕彰（立像、胸像、碑文など） 3. 医道の高揚に資するヒポクラテス像など。
旧病院と同時代の建築である日比谷の三信ビル、京橋の片倉ビルが取り壊された後、かつての建築物の姿を記録した展示物等が新しいビルに設置されなくて残念だったのですが（片倉ビルは玄関のメダリオンだけ展示されていますが、あれではかつての姿はわからない）、利用者が気軽に見ることが出来る形で、旧病院の正面玄関あたりとかこのサイトの下部のバナーになっているガラス部分などの記録が残るといいなと思います。 写真を千葉大のHPのどこかにアーカイブ的に載っけておいてくれると戦前建築物愛好家は喜ぶんじゃないですかね……。
旧病院内でのさよならパーティー
取り壊し前のhomecoming party
アンケートの場を作っていただき、感謝します。保存事業は容易ではないとは存じますが、千葉大学の、他の医学部とは異なる価値は、旧病院の歴史的建造物に象徴される、その歴史であると思います。欧米の、歴史あるアカデミアも、必ず歴史的建造物を努力して保存しています。いったん失われたら、回復は不可能です。白澤教授はじめ、ご担当いただく方々、大変なご苦労があるとは存じますが、何とか、旧病院の正面ファサードについては、保存をお願いしたいです。
近年、ドローンを使って建造物や周辺の風景を保存することが散見されます。ぜひ、やりませんか。
・あれだけの建物は今後造りがたい。一部だけでも残したい歴史的建造物である。市や県の協力（ひいては利用主体としても）は得られないのだろうか。千葉市、県の遺産でもあると思う。 ・取り壊すようなら、サヨナラパーティーなどOBを呼ぶことはできないだろうか。卒業生でもあの建物がなくなることは十分に周知されていないと思う。
旧病院と同年に建設された矢作町の高架水槽は平成19年の登録有形文化財に登録されている。旧病院も登録基準を満たしている。（築50年以上） 医学部だけで議論せず建築学科なども働きかけて良案を練るべき。 千葉市内には戦前の建築物はほとんど残っていないため取り壊しは避けて欲しい。
ホームカミングパーティなどで徳久先生が話されていた旧病院時代の話など、今の学生が知らないことを（当時のこと）知る機会は欲しい。
何を行うにしても必ずプロに発注をお願いします。
動画を残しましょう。プロの力を使うといいと思います。
イベントのオンライン配信
全国放送（少なくとも東京で中継されるくらいの）規模のパレード的なやつ。
卒業生の集合写真をパネルにして残す。
現医学部本館（旧病院）の建物全ての保存を強く希望します。東大など他の大学は歴史的建造物を改修し、大学のシンボルとして残しているのに、なぜ千葉大学にはそれができないのでしょうか？千葉大学唯一の歴史的建造物である現医学部本館を残せるように、大学側に強く働きかけていただきますようご尽力よろしく願いいたします。
同窓生ネットワークの構築 海外医学部との連携・留学支援・研究支援等前向きな新規プロジェクト
医学部本館は千葉大学の宝です。壊してしまったら取り返しのつかないことになります。 それを良く考えたい。
取り壊しになる前に、OBや地域住民を招いての見学ツアー開催
現医学部本館の建物全ての保存を強く希望します。 東大など他の大学は、歴史的建造物を改修し、大学のシンボルとして残しているのに、なぜ千葉大学には、それができないのでしょうか？千葉大学唯一の歴史的建造物である現医学部本館を残せるように、大学側に強く働きかけていただきますよう、ご尽力よろしく願いいたします。
とにかく、千葉大医学部本館は我々医学部卒業生にとってなくてはならないものと考えている。心のよりどころがなくなることを平然と行おうという卒業生は一人もいないと信じる。壊すのは簡単だが、二度と元には戻らないことを肝に銘じるべき。
医学部卒業生以外にも本館建物の価値を知ってもらえるよう、マスコミや市・県の文化・教育関係部署に働きかけるべき（企画ではありませんが）。知らせる努力を。東大より素晴らしい建築のように思える。東大ですら保存しているのに。

## 新型コロナウイルス感染の世界蔓延に直面して

わた よう たか ほ  
済 陽 高 穂 (昭45)

2019年11月22日、中国・武漢で原因不明のウィルス性肺炎が確認され、12月18日、武漢海鮮市場で発症した高熱・肺炎患者が武漢中心病院に救急入院、外部機関で行われた検体の解析で『新型コロナウイルス』感染であることが判明した。12月31日；WHOへの最初の報告、2020年1月16日；日本での最初の感染者を確認、わが国ではその後2月22日；108名、3月27日；1,046名、4月25日；10,026名へと激増、ただし改善・退院者が現在では9割前後となり、死亡者963名を除くと、現在加療中感染者は実質1,000名前後で推移している。一方、世界での感染者はほぼ1,000万人、死亡者は47万7千人に達し（6月25日現在）文字通りパンデミックとなっている。

日本での感染拡大は、政府・厚労省、また文科省、経済産業省、財務省などが叡智を絞って、学校閉鎖、緊急事態での経済活動自粛など影響を最小限に食い止める努力を続けている。100年前のスペイン風邪流行時、米国セントルイスでの市民活動自粛が成功し、フィラデルフィアでの死者数の十分の一程度に留めたことが、尾身会長の公衆衛生学会誌で発表されており刮目させられた。日本でのコロナ感染防疫が国民の政府への信頼が強固なものであり、その成果が実を結びつつあることを欣快とするものであるが、100年に一度の国難を何とか乗り越えて、また素晴らしい日常が到来することを願っている。



# 研修プログラム

千葉大学医学部附属病院

## 呼吸器外科

千葉大学大学院医学研究院 呼吸器外科学

教授 吉野 一郎 (九州大・昭62)

呼吸器外科は頸部から横隔膜までの心臓・大動脈・食道以外の胸部臓器を扱う外科で、肺結核が隆盛の19世紀初頭に胸郭・胸膜の外科として始まりました。気管内挿管による閉鎖式循環麻酔が普及した1940年代ごろから肺切除が行われるようになり、1960年代からは肺腫瘍が治療対象の中心となり、1980年代からは分離肺換気技術を駆使した胸腔鏡手術、2000年代からロボット手術が行われるようになりまし

た。ロボット手術は本邦では2018年4月から肺悪性腫瘍手術、縦隔良性・悪性腫瘍切除に保険が適応されるようになり急速に普及しています。現在日本では年間約7万件以上の呼吸器外科手術が行われており、そのうち約4万件が原発性肺腫瘍手術で、両者とも増加傾向にあります。肺移植は内科治療では治療できない

患、縦隔疾患、胸壁・胸膜疾患、気道疾患、肺移植(認定施設、他)を担当しています。中でも肺腫瘍については高精度な内視鏡診断、集学的治療、形成手術による肺機能温存、ロボット手術(認定施設)、COPD/IR合併例の周術期管理などに力を入れています。

千葉大グループでの研修について概説します。卒後3年目で千葉大病院呼吸器外科の後期研修医となった場合、外科専門医(3年間、千葉大学外科系診療科が共同で管理)を取得し、その後約3年で呼吸器外科専門医が取得できるようにプログラムされています。1年目(卒後3年目)は主に千葉大病院で解剖、肺生理、胸腔鏡操作、病棟管理、開胸、縦隔疾患の手術などを学び、2年目からは主に関連病院で肺動脈の剥離を要する解剖学的肺切除(肺葉切除、区域切除)を修練し始め、3年目以降は習熟度に応じて胸腔鏡手術、リンパ節郭清などに挑戦させるようにしています。なお外科専門医取得に必要な手術症例のうち、初期臨床研修中に経験した手術症例も実績に加えられるので、呼吸器外科以外

1962年に第一外科(現臓器制御外科)より肺腫瘍研究施設外科部門・肺外科として独立し、内科部門、病理部門とともに肺腫瘍研究のメッカとして多くの人材を輩出してきました。大学院改組により2001年に呼吸器外科(呼吸器病態外科学)となり、我が国の呼吸器外科の老舗として臨床・研究・教育に高いアクティビティを保ち、すべての呼吸器外科領域(悪性肺腫瘍、転移性肺腫瘍、炎症性肺炎

の手術を初期研修中にできるだけ多く経験しておくことが望ましいです。それは、後期研修では初期研修中の経験数をみて、呼吸器外科を中心に経験しつつも経験数の不足している消化器外科、心臓・血管外科、小児外科、乳腺外科などを修練してもらうようにしているからです。卒後5-6年目からは研究も同時にできる体制を整えております。私が教室を主宰してから入局した卒後9年目以上の教室員20名のうち博士号取得率

100%、呼吸器外科専門医取得率95%(19名)となっております。現在、17名の教室員が修練中です。

「臨床から逃げない、臨床に逃げない」をモットーに、社会に貢献できる呼吸器外科医、呼吸器外科指導医の輩出を目標にしています。呼吸器外科を志望する(興味のある)学生、初期研修医の皆さん、遠慮なく話を聞きにきてください。千葉大学呼吸器外科では常に皆さんの力を必要としています。

の手術を初期研修中にできるだけ多く経験しておくことが望ましいです。それは、後期研修では初期研修中の経験数をみて、呼吸器外科を中心に経験しつつも経験数の不足している消化器外科、心臓・血管外科、小児外科、乳腺外科などを修練してもらうようにしているからです。卒後5-6年目からは研究も同時にできる体制を整えております。私が教室を主宰してから入局した卒後9年目以上の教室員20名のうち博士号取得率

**地方独立行政法人 総合病院 国保旭中央病院**  
副院長・千葉大学医学部臨床教授 塩尻俊明 (奈良医大・平元)

当院は、診療科目40科、医師数(初期研修医を含む)280名を有し、診療圏は千葉県東部から茨城県鹿嶋地区を含む東南部の13市、7町に及んでいます。地域の基幹病院であるため、軽症例から高度医療を必要とする症例まで当院に集まってきます。訪問看護センター、付属診療所、緩和ケア病棟、精神科病棟、NICU、関東地方で最大規模の透析センターを備え、あらゆる医療ニーズに対応できる病院で



る環境にもあります。そして、救急外来で初期研修医が活躍していたために、当院では救急外来で頻度の高い疾患を担当する必要があります。その疾患頻度としては、内科疾患50%と最もおおく、それに整形外科、脳外科、小児科疾患が続きます。内科は、9ヶ月のローテートとなっていますが、ほぼすべての内科各専門科を研修できます。外科系では、上記2科に一般外科を追加して3ヶ月ローテートします。小児科は2ヶ月

ローテートすることで、外来研修も経験できます。また、必修科ではありませんが耳鼻科、泌尿器科、皮膚科、感染症科など救急外来で必要となる診療科を、ほとんどの研修医が選択期間にローテートします。

「聞いたことは忘れる」、「見たことは覚える」、「やったことは解る」という言葉があります。最後は「教えて実になる」だと思います。救急外来と内科総合病棟では初期研修医2年目は1年目を、専攻医は初期研修医を教える屋根瓦式



が徹底されています。また、その屋根瓦式を達成するために効率のよい学習環境として、病院内どこからでもUp To Date、DynaMed、

医中誌、有名ジャーナルにフリーアクセスできる環境があります。疑問を感じた時、どこでも調べる習慣がついています。電子カルテも病院配布のタブレットからアクセスでき、カンファレンスルームだけでなく、どこでも症例をシェアできるようになっています。日常診療の疑問点を解決するための臨床研究も必修とされ、研修医全員が指導医の指導のもと活発な臨床研究を行っています。

5分で九十九里浜です。で、サーフィンなどマリンスポーツや釣りが楽しめ、ゴルフ場も近くに多く点在しています。病院に体育館があり、バスケットボール、バレーボール、フットサルなど室内競技の院内クラブもあるため、メデイカルスターのみなさんとも楽しく交流しています。院内には有志で整備したジムがあり、女性医師も結構利用しています。また女性医師専用のシャワールーム、仮眠室、くつろぎスペースがあります。

当院には、理事長・吉田

象二先生(昭47)、シルバークアーセクター施設長・村上信乃先生(昭39)以下61名のほな同窓会員の先

### 研修医だより

#### 後期研修生活について

千葉大学医学部附属病院

西 織 浩 信 (平29)



2019年4月から2020年3月にかけて千葉大学医学部附属病院で心臓血管外科後期研修医1年目として勤務させて頂いております。今回貴重な機会を頂きましたので、僣越ながら私の後期研修生活について書かせて頂きます。

まず千葉大学心臓血管外科ですが、何と言っても症例が多岐にわたり数も非常に多いこと、職場の雰囲気も良く頼りになる上級医が多いことは、特筆すべき特徴です。私が千葉大学で後期研修を行うと決めたのはそうした理由からです。予

生方が在籍しています。是非当院を見学に来てくださ

定手術はほぼ全ての平日にあり、人工心肺を使用する開心術から、大血管のステントグラフト(血管内)治療、経カテーテル大動脈弁置換術とレパトリー豊かです。2019年からは心臓移植も開始し、多岐にわたる治療をバランス良く行なっている中で成績も良く、どの症例をとってみても勉強する点に溢れています。また上級医の先生方に関しては、教授をはじめ人格に優れた先生方ばかりで、相談しやすいばかりでなく医師として姿勢を見習う上でも本場に勉強になります。これは関連病院にいらつしやる先生方も多くそうであり、若手が多く勢いのある職場であると感じています。そんな環境下での後期研修医生活は大変な時もあり

ますが非常に充実しています。病棟当番と手術当番を隔週で担当し、手術週は全ての手術に助手として参加冠動脈バイパス術の時は静脈グラフト・橈骨動脈グラフトの採取、また大腿動脈の露出等も行います。週2回は当直をこなすなど肉体的にハードな時もありますが、やりがいが多く月日があつという間に過ぎていきます。助手として多くの症例を経験することで、心臓外科手術の一般的な流れはもちろん、上級医の先生方の理論・工夫を学ぶことができました。病棟業務に関しても任せて頂ける範囲も多く、術後管理から集中治療管理、術前評価まで広く学べました。心臓外科ではほぼ全例が術後ICUに入室します。ハイリスク症例や緊急症例では時に管理に難渋しますが、循環・呼吸・腎臓・感染・栄養など幅広い知識を基にした全身管理が患者予後に寄与するためやりがいも大きいと感じています。これまで馴染みのなかったINPELLAやIABP、ECMOといった循環補助装置、左室補助人工心臓等にも触れる機会が多く学ぶことに溢れた一年でした。調べて分からないことは自分の上の学年の先

生方(医師7年目以降)に聞いてみるのですが、聞いたことの何倍もの情報で丁寧な教えて頂けることが多く感嘆すると同時に、自分の目指すロールモデルになり大きなモチベーションとなりました。

学術的にも充実しており、発表の機会是一年を通じて恵まれ、地方会や各種研究会、全国学会への参加を促される機会を得ました。残念ながら一部の研究会や地方会

### 令和3年版名簿発行のお知らせ

このたび、令和3年版同窓会名簿を発行する運びとなりました。同窓生の皆様には、名簿掲載内容の確認はがきや名簿購入の案内状を発送して作業を進めてまいりますので、ご協力のほどお願い申し上げます。

- 名簿発行日：令和2年10月下旬
- 体 裁：変型A4判(約470頁)
- 名簿価格：3,000円

名簿作成委託先  
このたびの名簿作成は、正式な同窓会事業として株式会社サラト(兵庫県姫路市)に委託しております。株式会社サラトのホームページ <https://salat.co.jp/>

まだないくすりを  
創るしごと。





追悼

永野俊雄先生を偲んで

千葉大学大学院医学研究院 元准教授 豊田(鈴木)二美枝 (茶女大理・昭42)



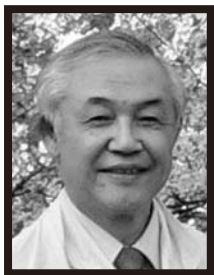
千葉大学名誉教授永野俊雄先生は、令和元年12月19日に享年89歳で逝去されました。電子顕微鏡(電顕)の黄金時代を研究と教育に邁進された御生涯でした。先生は昭和30年千葉大学医学部を卒業後、直ちに大学院医学研究科に進学されました。博士号取得後解剖学第二講座助手に就任。昭和34年にシアトルのワシントン大学 H・S・ベネツト教授の元に留学、開発期にあった生物系電顕観察技法を修得されました。帰国後、講師、助教授を経て昭和42年に37歳の若さで教授に就任されました。教育者としての先生は、総計三千人以上の医学部学生に組織学を教授しました。ミクロの世界に戸惑った学生も多く、先生の試験は難

し、装置の保守、修理、改良を引き受け、更に使用者としての意見を製造会社に伝えて装置の改良に寄与されました。学内の電顕使用者達の月例会、「電顕談話会」を主宰されて情報の交換、親睦にも尽くされました。講座からは山内昭雄(東大・昭35)東京大学医学部解剖学、安澄文興(奈良医科大卒)琉球大学医学部解剖学、龍岡穂積(昭54)千葉大学フロンティアメディカル工学研究開発センター、出澤真理(平元)東北大学大学院医学系研究科・医学部細胞組織分野の四教授を輩出しています。速筆の先生は、単行書も多数出版に関与されました。「電子顕微鏡による細胞組織図譜」(昭42年 医学書院)、「人体組織学」(昭60年 朝倉書店)、「電子顕微鏡生物試料作製法 改訂版」(昭61年 丸善)等が代表的なものです。学会は日本解剖学会、日本電子顕微鏡学会(現日本顕微鏡学会)、日本アンドロロジー学会等で活躍されました。特に日本電子顕微鏡学会では関東支部長、学会誌の編集委員長、平成4年第48回総会の実行委員長を勤められました。

平成8年御退官後は名誉教授となられ、山梨医科大学、文教大学などで講師を勤められました。これらの御功績に対し、平成22年春の叙勲に瑞宝重光章を授与されました。晩年は御夫妻でクルーズ船による世界旅行を楽しんで居られました。しかし奥様を亡くされた翌年の令和元年11月に肺炎で入院、12月19日に腎不全のため逝去されました。先生、本当にお世話になりました。先生は貞子夫人が東京女子医科大学教授でいらしたので職業婦人をよく理解され、教室員の私共にも差別なく接して下さいました。感謝の意を込めて心よりご冥福をお祈り申し上げます。

故 税所宏光先生への 感謝をこめて

前千葉県がんセンター病院長 山口 武人(昭56)



令和元年10月12日、千葉大学医学部旧第一内科(腫瘍内科学講座)の教授を務められた税所宏光先生が、享年79歳で逝去されました。私は昭和60年に初期研修から大学に戻り消化器の臨床研究を始めるにあたり、税所先生のご指導を受けることになりました。それ以降30数年にわたり、税所先生を師と仰いできた関係で

當に携われました。税所先生のご業績は多岐にわたりますが、その中で胆・膵疾患に対する内視鏡的診断・治療は高く評価されたお仕事でした。とくに内視鏡的乳頭切開(ERCP)ではそれまで大切開が主流であった大切開法に対し、乳頭括約筋を十二指腸粘膜内までの切開にとどめる「小切開(現在の一般的な方法)」を独自に提唱され、胆石症の非侵襲的治療法の確立と、約30年間の予後を総括した長期の治療成績を明らかにされました。膵疾患では慢性膵炎の診断基準作成に初期から携われたとともに、膵癌の診断・治療やIPMNの診断など、幅広い業績を残されました。教授ご就任後は消化器病関連の学会の理事、評議員を務められ、第34回日本膵臓学会大会会長、第64回日本消化器内視鏡学会総会会長、第36回日本胆道学会会長など、多くの学会・研究会を主宰されました。また、Digestive Endoscopyの編集委員長をはじめとして、様々な学術誌の編集委員も歴任されました。税所先生のお人柄を一言でいえば、「温厚」。そのもみ込んで下さり、常に周囲

を明るくさせておられました。そのお人柄は学生にも判るのでしよう、毎年多くの新卒者が入局しています。ご自宅は東京・西新宿で、千葉までの通勤は大変だったと思いますが、ほとんど1日も休むことなく通っておられました。どんなに夜遅くなっても翌日は誰よりも早く大学に来ておられ、千葉在住の我々がこのこと後から出勤し、気恥ずかしい思いを何度かしました。数年前から体調を崩され、治療を続けてこられました。その間に何度かお会いする機会がありました。いつも笑顔で明るくお話しされていました。おそろく体力的にきつい治療を受けていらしたと思いますが、悲壮感など全く感じさせず、以前のように私たちを和ませてく

ださいました。亡くなられる直前まで臨床・研究・教育に心血を注がれてきた税所先生ですが、今頃は天国で消化器病の将来などについて、大藤先生とゆつくりお話をされているのかもしれない。税所先生、長い間ご指導頂き、本当にありがとうございました。先生の御恩に感謝するとともに、ご冥福を心よりお祈り申し上げます。



# 同窓会員著書の紹介

藤井 克則 (平2) 編

## 動画でわかる小児神経の診かた

羊土社 定価 7000円 (税別)

紹介者 杉田 克生 (昭54)



本書は、最近藤井克則先生により編集され、各執筆担当者の診療経験をわかりやすく記述されている。小児神経疾患診療で必須の神経診察や検査のタイミング・手技・鑑別疾患を丁寧に解説した入門書である。小児科120年の歴史の中で今までこれほどの動画を用いた教科書は存在しなかった。検査法・患児のWeb動画が191本も収録されており、文字だけではわかりづらい手順や動きが見て理解できる。

本書の内容は10章からなり、1章は一般診察、2章は各論として新生児、乳幼児、学童と年代別に診察法が解説されている。なかでも「column成長に伴う姿勢・移動の変化」は目まぐ

るしく変化する小児の発達を理解する上でわかりやすい。2章意識・精神状態・行動には、小児の救急での判断や現在課題となつている発達障害についても詳細が記載されている。3章不随意運動では、小児で見られるミオクローヌス、アテトーゼ、ジストニア、舞踏病の実例をもとに鑑別疾患が提示されている。まれではあるが日常診療で見逃すことのできない疾患群が網羅されている。

4章では小児で最も経験することの多いけいれんについて詳述されている。特にけいれんの診かた、焦点起始発作の側方徴候、強直間代発作、ミオクローニー発作、高次脳機能症状を伴う発作など救急現場で遭遇しやすい症候について実践的に解説されている。5章では脳神経系がイラストとMRI写真を豊富に用いて記載されている。また6章感覚系、7章運動系、8章小

脳系、9章自律神経系は神経学の王道に従い、小児の特性をふんだんに取り入れて記載されている。また10章のトリビアは、経験することが少ないが神経症候学的に興味深い発作性運動誘発性ジスキネジア (PKD)、ミオトニア、眼球運動失行、鏡像運動、眼球上転発作、オプンクローヌス (OMAS) が記載されている。

本書の画期的な点は、医学教育上重要な視覚情報処理の観点から「情報の取捨

選択、画像のイメージ化、抽象・概念化」に向けた配慮が随所にみられることである。本書は発売当初からAmazonの小児科上位100冊ランキングで、「売れ筋」「ほしいもの」「人気ギフト」の3部門すべて1位となりAmazon 3を達成した。小児科医にとどまらず、総合診療医はじめ小児を診療する機会がある先生方や医学生すべてに薦める良書である。

さてこの女性のご用件というのは、件の史料の解説をして欲しいというものであった。このような依頼は受けたくないのだが。理由は二つあって、一つは筆者が古文書の専門家ではないこと、もう一つは他人に間違つたことを教えてしまつた場合の重大さからである。史料を拝見したので結局引き受けた。明治に入つてからの文書なのでさすがに「くずし字」ではなくて楷書で書かれていたが、問題は漢字に「異体字」が多く用いられていたことである。異体字は日本で独自に造られた漢字で「国字」ともいう。現在の一般的な漢和辞典では引くことができない。漢字の正式な字形を「正体」というが、この基準が専門

### 雑文雑談

## とりとめのない話

石出 猛 史 (昭52)

大学の外来で知人の診察は予約の一番最後に行つていた。診察が終わつてから雑談をするためである。県や市の幹部職員を勤めていた方達からは行政の話や聞いた専門領域の話をした。大学の職員で生まれも育ちも上総国という方とは、専ら上総国の地誌や産物の話を

する。ある日この方の診察が終わつて外に出ると、またすぐにもどつてきた。中年の女性が「緒である。友人で以前大学病院に勤務されていた方だという。千葉大学医学

部創立当時のことを調べていて原史料を収集しておいでとのことである。筆者がかつて『千葉医学雑誌』に上梓した文献も「セツトお持ちで大変に恐縮した。最近入手したという史料を披露して下さい。」

これらの史料は、千葉県の当時の「令」(第2代)船越衛と関係がありそうである。「令」は明治18年(1886)「知事」に改称された。船越衛は県立千葉医学校が明治20年(1888)9月国立の第一高等中学校医学部として継承される際

にその誘致に努め、資金を県費から出費させることを議決に議決させた。これから浮び上つてくるのは、国から任命された県令船越衛が医学部の運営費用を地元負担として、国に強く誘致を働きかけたという図式である。また野田市を流れる利根運河の開発にも関わつたが、明治17年(1885)に自由民権運動の活動をしてきた以文会を弾圧したことでも知られている(夷隅事件)。

別の史料には共立病院・県立千葉病院創立当時のことと、分院も含めた医師の人事が記載されている。『千葉大学医学部八十五年史』には、共立病院は「階堂謙・久我哲済の2名の医師と調剤生2名事務係2名で開始された」とある。しかしこの史料によると設立当時もう1名医師の名が記載されており、開始時医師3名調剤生3名事務係2名と明記されている。

今回も新しい同窓会名簿の案内が来た。この名簿を見ていつも奇異に感ずるのは、前身学校時代の記述が全く変わらないことである。本学医学部の基礎を共立病院とするのであるなら、最初の医師「階堂謙・久我哲済」両氏の名も旧職員として記載されてもよいのではなからうか。筆者も以前『千葉医学雑誌』で、県立千葉医学校初期の卒業生数名の氏名と略歴を紹介したが、全く反映されていないようである。『八十五年史』には、志田保氏の医学教場の卒業証書第一号の写真まで掲載されている。歴史の評価の多くは確定したものではない。新たな史料が発掘されたならば改定されるべきである。そうではなからうか。

家の間でも一致していないため、異体字の明確な定義もまだできていないということである。比較的判り易い異体字の例を紹介する。石出の「出」は「山山」と表記される。同じ字が二つ重なつているので下の「山」に踊り字をあてて「𠂔」と表記する。更に踊り字を略字にして「𠂔」と表す。これら三つの字はいずれも「出」と読む。筆者の檀那寺の過去帳でもこの表記がみられる。しかし漢和辞典の漢字とかけ離れた字も珍しくない。

史料をどうにか判読して訳文をお渡しした。史料は千葉病院・千葉県の用箋に記録されているので一応信用してよいと考えられた。所有者の承諾を得られていないので、史料の詳細を述べることはできないが概略を記す。一つは千葉病院の事務長から県令船越衛に宛てた建言書の草稿のようである。医師の養成には経費がかかり県の財政を圧迫するので、医師の養成は大学医学部(現東京大学医学部)に任せて、免許取得後帰郷させ、地元で開業あるいは県立病院に勤務させればよいという虫の良い案である。この通りになっていたならば誘致は成功しなかったであ

ろう。



# 学内情報

## るのほな同窓会支援

### 第13回ちばBCRC

#### 最優秀賞を受賞して

医学部5年 竹野 有加里



この度、第13回ちばBCRC (Basic & Clinical Research Conference) にて最優秀賞をいただきました。心より感謝申し上げます。私は医学部のスカラシッププログラムで分子腫瘍学教室に配属させていただき、ちばBCRCでは「53野生型がん細胞株に特異的に高い増殖抑制作用を有する新規化学合成物質」について報告しました。独自に合成した化合物が、がん細胞株に増殖抑制作用を示すことが研究室での先行解析にてわかっていました。私はその作用機序の解明と、その化合物をリードとして合成された50%生存阻害濃度(IC50)のさらに低い誘導体化合物のスクリーニングを目的として研究を行いました。新規化合物について実験を行い、その作用機序を検証していく過程は大変興味深いものでした。今後は作用機序のさらなる解明と、in vivoでの検証へと進みます。

分子腫瘍学では毎週木曜日に抄読会があり、また希望者は実験技術を学ぶことができます。研究室のスタッフの皆様は、実験や研究について右も左も分からない私に、お忙しいなか懇切丁寧に指導してくださいました。学部生のうちに細胞培養などの基本的な実験手法や結果の解釈を学び、研究成果を発表する機会を得られたのはとても貴重な経験でした。自分の研究結果を発表する立場になって、データをまとめたりグラフやスライドを作成してみても初めて、どうすれば聴衆の方々にとってわかりやすい発表になるのか、他の研究の発

表や論文を読む際にどこに着目すればよいか、などを実践して学ぶことができました。と思います。

本受賞にあたり、一から指導してくださいました金田篤志教授、喜多和子先生をはじめ分子腫瘍学のスタッフ

## るのほな同窓会支援

### 第10回 白衣式祝辞

令和元年11月29日(金) 於るのほな記念講堂

るのほな同窓会長

済陽高穂(昭45)

本日は学生の諸君ならびにご父兄の皆さん、白衣式おめでとうございます。

本日白衣を授与されて新年度より臨床実習に進む訳ですが、これはこれまで4年間の教養課程や基礎医学の学習と違い、患者さんの前にした実地の医療の教育であり、また医師免許取得後の臨床研修とも異なる、病気の治療についての様々な手法の学習です。

この事は医学部がいわゆる職業学校であることを物語るもので、諸君達の先輩である経験豊かな医師たちから、病める人を前に、病気の取り組み方、患者さんへの接し方を一人一人手ずからマンツーマンで教わるものです。

フの皆様方、スカラシップ指導を受けて来られた先輩方に深く感謝申し上げます。またちばBCRCを運営していただきました方々に心より御礼を申し上げますと共に、同会の益々の発展をお祈り申し上げます。

わが千葉大学医学部は140年の歴史を持ち、これまで優秀な研究者や熱心な臨床医を数多く輩出して来ましたが、不治の病に挑み独自の手術を開発したり、あるいは難病への診断や治療法に取り組んで国際的な評価を受けた卒業生も見受けられ、中にはノーベル賞候補にノミネートされた方もおられます。また医者の方々のソサエティである日本医師会の会長を務めた先輩もおられます。諸君もこのような輝かしい伝統を

持つるのほな同窓会員となり、先輩方に続いてこれから、医師見習いとして医療チームに参入すると共に、誇りと誠意を持って患者さんに接し、常にベストを尽くす心掛けで実習に臨んでください。

医学はそれに携わるすべての人間が努力を傾ける医学、すなわちサイエンスの学問でありますが、『医療』は病気に取り組む人間性溢れる作業であり、患者さん主体のものであります。また『医療の要件』つまり医療に必要な条件として、約100年前の1917年に米国外科医学会が定めた、すなわち『安全、有効、患者中心、即時的、効率的、公平』が現在も尊重されています。



【写真提供：フォトチョイス】



【写真提供：フォトチョイス】



千葉大学創立135周年事業の一環として各界のご協力を得て、5年前に新しい同窓会館が落成しました。これを各種研究会やクラブ活動などに大いに活用し、亥鼻台における皆さんの友情を育む同窓の拠り所となるよう願っております。

## 第18回 亥鼻祭開催のお知らせ

亥鼻祭実行委員 サークル実行委員長  
医学部3年 朝倉 慎太郎

亥鼻祭とは、千葉大学亥鼻キャンパスにて行われます。医療系大学祭で、医学部、看護学部、薬学部の三学部が協同して実施しております。例年11月初旬の日曜日に開催されるのですが、本年度は新型コロナウイルスの影響も鑑み、開催未定となりました。今後の事態の動向次第では中止も視野に入れております。

もし仮に開催できる運びとなりましたら、これまでの伝統や昨年度新たに行われた試みを受け継ぐのみならず、外部への発信の強化、来場者数のさらなる増加を目標とし、学生へのアピールも増やし活気ある亥鼻祭を作り上げていきたいと

皆さんがこの千葉大学で素晴らしい医学教育を受け、医療界に貢献する医師として成長するよう同窓会も一杯支援したいと思っております。おのれの健康にも充分留意して頑張ってください。健闘を祈っております。

亥鼻祭が開催できましたのも、同窓会の方々をはじめ、地域の方々や保護者の方々のご支援、ご協力のおかげであります。この場を借りて謹んで御礼申し上げます。支えてくださっている多くの方々への感謝の気持ちをお忘れず、亥鼻祭まで学生一同、誠心誠意頑張ります。本年度も皆様と共に亥鼻祭を盛り上げていければと思います。学生一同、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

思っております。本年度は、昨年度同様、外部からの講演者やお笑い芸人さんなどを招待し、文化祭を明るく盛り上げます。また、各学年による学年企画や医療系学部ならではの医療に関するブース展示も行う予定です。医療系大学祭であるという特徴を生かし、他の大学祭にはできない様々な切り口から医療に向き合い、来てくださった方に少しでも医療の魅力を感じていただける学園祭を目標にしていきたいと思っております。是非当日はご来場いただき、新たな歴史への道をたどり始めた亥鼻祭をご覧になってください。これまで17年間にわたつ

## 課外活動団体だより

### 弓道部

医学部4年 花塚 拓也

弓道部は、医学部、薬学部、看護学部の3学部の部員からなる部活です。普段の活動は千葉県内や都内の道場、亥鼻キャンパス内など様々な場所にて行っております。日々の練習では、師範のご指導のもとで射技や礼法を皆で学びながら、定期的に行われる試合や大会に向けて努力し、また年に数回行われる審査での昇段を目指して精進しております。

眼科学教室同窓会  
2019年第56号



### お詫びと訂正

183号  
14面 1段5行目  
クラス会  
水泳部OBORG会  
山口淳一先生  
山口伸幸先生  
お詫びして訂正・記載させていただきます。

試合や大会は主に、8月の東日本医科学学生総合体育大会（東医体）をはじめ、春と秋にある関東医科学学生弓道大会、そして他大学の弓道部との交流戦などがあります。このような試合や大会は練習の指針・目標になるとともに、その結果が今後の活動にもつながる重要な機会となっております。部員は大学入学以前から弓道をしてきた者もおりますが、大学から始めた者が多いことが特徴です。1年生は、5月入部で8月にあ



2019年10月 関東医科学学生弓道大会の出場選手たち

る東医体に出場することが出来、入部早々に試合で結果を残す者も少なくありません。初心者でも活動を始めやすく、試合等に早い段階で皆が出場できることが、弓道部の長所の一つと考えられております。

けでなく、食事等の交流もあり、お互いに弓道のことや学業等の話をするなど活動を通して仲良くさせていたいただいております。このような交流は、部活動の幅が広がる貴重な機会にもなっております。

部活動は練習や試合だけでは無く、多くのイベントもごございます。特に春休み期間や東医体直後には部旅行を行っており、部員間の交流を深める大きなイベントとなっております。

このように充実した活動を行うことが出来るのは、毎年ご支援いただいているOB・OGの方々のご理解とご協力のおかげでございます。

Value through Innovation

### 人々のより良い健康のために

ベーリンガーインゲルハイムは、株式を公開しない企業形態の特色を生かし、長期的な視点で、医薬品の研究開発、製造、販売を中心に事業を世界に展開している製薬企業です。

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 本社 / 〒141-6017 東京都品川区大崎2-1-1 ThinkPark Tower  
<https://www.boehringer-ingenheim.jp>





### 男子バレーボール部

医学部4年 山本裕貴

ます。部の代表として感謝申し上げます。  
これからも部員一同精進し、部活動に力を注いでまいります。また弓道という武道に関わる者が少しでも増えるよう、部の発展にも努めてまいります。

#### 役員名

- 主 将：花塚 拓也
- 副 将：小林 悠真
- 内 務：針谷 輝
- 外 務：藤井 沙帆
- 会 計：森田悠太郎
- OB会計：小川菜里奈
- 薬学主将：松川 真人

男子バレーボール部は、プレイヤー25人、マネージャー13人の合わせて38人で活動しています。普段の練習は、毎週月曜日と火曜日に亥鼻キャンパスの体育館で、木曜日に西千葉キャンパスの体育館を使わせていただいております。1回2時間半の練習時間をフルに活用し、練習中は声を出し本気で取り組み、練習後には各自残って自主練習をするなどして、各々が切磋琢磨し自身のスキルアップに努めております。公式試合では、令和元年8月に行われた東日本医科学学生総合体育大会(東医体)において、予選を1位通過し、ベスト8に残ることができました。現在は関東医歯薬リーグの1部昇格東医体での優勝を目標に、日々邁進しております。

部において特徴的な点は、大学から始めた初心者が多いことにあります。大学のバレーボールは中学・高校での6年間バレーボール部に所属してきた人達ができるスポーツと思われがちではありませんが、千葉大学の男子バレーボール部のプレイヤーの殆どは大学で始めた初心者です。1年生からバレーボールを始め、引退する頃にはチームを引っ張るエースになっているという例も少なくありません。そうした初心者でも成長できる環境を作り出しているのが、上級生と下級生の縦の繋がりにあります。上級生は自分の練習をするだけでなく、試合に出ない下級生の練習をしている姿を見て改善点を見つけて1対1で教えたり、逆に下級生から上級生に質問をたくさんするなどして、試合に



2019年度 男子バレーボール部引退試合

出ないメンバーを含めたチーム全体のレベルアップをはかっています。また、練習に来てくださるOBの先生方や外部の選手の方々からも教えていただくことで、選手一同、スキルアップすることができております。

また、男子バレーボール部の特徴として、もう一点挙げられるのが、年間を通して沢山行われるイベントにあります。東医体が終わつた後、毎年8月には女子バレーボール部と旅行に行き、体育館でのレクリエーションや、川辺や海でのパークユエを行っています。また、冬にはウィンタースポーツを満喫する旅行を行い、男女の垣根を超えて親睦を深めております。

この場をお借りして感謝の意を述べさせていただきます。これからは男子バレーボール部は、さらなる高みを目指して、チーム一丸となって発展していきたいと思っております。

### 千葉ぬいぐるみ病院

医学部4年 宮川晴行

千葉ぬいぐるみ病院は亥鼻のサークルには珍しく、医学部・薬学部・看護学部に加えて西千葉キャンパスの教育学部の主に4学部の学生で構成されています。部員は50名ほどおり、各部門が自分の好きなタイミングで活動に参加しています。特に教育学部(幼稚園科)の学生は普段から子どもたちと接していることもあり、子どもたちへの関わり方が非常にうまく、亥鼻の学生は良い刺激をもらっています。

#### 役員名

- 主 将：木村 友紀
- 主 務：山本 裕貴
- 副 将：玉澤 弘隆
- 副 務：朝倉慎太郎
- 会 計：江本 宇基
- マネージャー代表：村山 温未



2019年亥鼻祭にて

擬診察を子どもたちにやってもらうことや、劇や紙芝居などの保健教育、お薬作り体験などを行っています。このような活動を通して、

子どもたちの病院嫌いや恐怖心を緩和させること、身体や健康について興味を持ってもらうこと、歯磨きや手洗いうがいの仕方など健康を自ら守る行動について学んでもらうことなどを目標としています。部員たちも子どもの笑顔を見て癒されると同時に、言葉遣いや接し方について日々勉強しています。



勉強会では上級生が中心となつて授業を行い楽しく勉強しています。昨年12月の勉強会では「聴診器の正しい使い方」や「こどもが怖いと感じるもの」などについて勉強しました。

また、夏には全国のぬいぐるみ病院の人々が集まる「ぬいぐるみ総会」が開催され毎年千葉大学も参加しています。他大学と交流することで、他の大学はこんなことをやっているんだ！と大変いい刺激をもらっています。

ぬいぐるみ病院は比較的新しいサークルではありません。

### 千葉大学救急サークル C・T・A・T

医学部6年 柴田修平

C・T・A・TはChiba Training Association for emergency Treatment (略い、顧問の安部隆三先生(千葉大学大学院医学研究院救急集中治療学准教授)の下、一次救命措置の普及を目的に活動しております。主な活動内容は千葉大学の学生を対象としたBLSコースの開催です。C・T・A・Tには20名弱のアメリカ心臓協会(American Heart Association)公式インストラクターが所属しており、

### 中こけACLS (Advanced Cardiovascular Life Support) & PALS (Pediatric Advanced Life Support) の資格を持つメンバーもおり、通常のBLSコースよりも深い指導をすることが可能です。

現在、千葉大学亥鼻キャンパス内で開催しているBLSコースは、毎年100名以上の千葉大生に参加していただいております、今でも50名以上の受講希望者の方とインストラクターで日程調整を行っております。BLSコース自体は4時間程度で、シミュレーターを利用した練習と筆記試験及び実技試験からなっております。コース中は、インストラクターは常に受講生に対してフィードバックを行い、質問に回答するため、受講した方は現在まで全員合格することができています。

### 役員名

代表：浅野 峻  
出石佳奈子  
会 計：石原菜々花  
広 報：鶴田 美夢  
実施補助：山本 優海  
佐藤 真歩



大学祭でのFamily and Friendsの様子



BLSコースの様子

また、病院の事務職員向けBLS講習や、医学部1年生向けのBLS講習にも救急部の先生とともに指導員としてC・T・A・Tのメンバーが参加しております。亥鼻キャンパスの大学祭では、来場された一般の方向けに、アメリカ心臓協会の公式コースであるFamily and Friendsを無料で開催しており、毎年参加者は200名を超える大盛況の企画となっております。

BLSのインストラクター資格を取得するのは決して楽ではありません。筆記試験、教育実習、実技試験、2年ごとの更新義務にボランティア義務など、これらを学業と並行して行わなければなりません。本来ならば、自身でBLSコースを開催し、受講料を得ることが出来る資格ですが、一次救命措置を広めるという目的の下、ボランティアでコースを開催しております。そのため、大量の受講希望者に対してC・T・A・Tのインストラクターの数は極めて少なく、需要に供給が追いつかない状況です。もし、BLSに興味がある方、特にインストラクターに興味がある方はぜひ共私たちと一緒にBLSの輪を広げていきましょう。

最後に、繰り返しになりますが、BLSコースの開催にあたりましては、安部先生をはじめとした救急部の先生方に多大なご協力をいただいております。この場を借りて改めて深くお礼申し上げます。

**役員名**  
代表：柴田 修平  
内務：柳澤真理恵  
会計：難波 恵  
広報：上條恵莉子



国立大学法人千葉大学  
医学部ホームページより

## 学長表彰及び学部長表彰を行いました

千葉大学医学部では令和2年3月23日に学長表彰及び学部長表彰を行いました。

本年は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、千葉大学卒業式・医学部学位記伝達式は中止となりましたが、成績優秀者3名が学部長表彰者、そのうち1名が学長表彰者に選出され、中山俊憲医学部長(写真右)より、表彰状と記念品が授与されました。

### 受賞者

- 学長表彰・学部長表彰：仲理允さん(写真左から3番目)
- 学部長表彰：横田英博さん(写真左)
- 杉田明穂さん(写真左から2番目)



## 令和2年卒業生の卒業後研修先

1年目	2年目	人数	1年目	2年目	人数
船橋市立医療センター	船橋市立医療センター	7	国立病院機構千葉医療センター	国立病院機構千葉医療センター	1
千葉県済生会習志野病院	千葉県済生会習志野病院	6	国立病院機構別府医療センター	国立病院機構別府医療センター	1
成田赤十字病院	成田赤十字病院	5	国立病院機構横浜医療センター	国立病院機構横浜医療センター	1
成田赤十字病院	千葉大学医学部附属病院	1	国立国際医療研究センター国府台病院	国立国際医療研究センター国府台病院	1
君津中央病院	君津中央病院	5	さいたま赤十字病院	さいたま赤十字病院	1
君津中央病院	千葉大学医学部附属病院	1	武蔵野赤十字病院	武蔵野赤十字病院	1
千葉市立青葉病院	千葉市立青葉病院	5	JCHO東京新宿メディカルセンター	JCHO東京新宿メディカルセンター	1
千葉市立青葉病院	千葉大学医学部附属病院	1	JCHO船橋中央病院	千葉大学医学部附属病院	1
千葉労災病院	千葉労災病院	4	東京都立多摩総合医療センター	東京都立多摩総合医療センター	1
千葉労災病院	千葉大学医学部附属病院	1	東京警察病院	東京警察病院	1
松戸市立総合医療センター	松戸市立総合医療センター	3	青梅市立総合病院	青梅市立総合病院	1
松戸市立総合医療センター	千葉大学医学部附属病院	3	さいたま市立病院	さいたま市立病院	1
国立国際医療研究センター	国立国際医療研究センター	3	市立四日市病院	市立四日市病院	1
国保旭中央病院	国保旭中央病院	3	仙台市立病院	仙台市立病院	1
国立病院機構千葉医療センター	千葉大学医学部附属病院	2	沼津市立病院	千葉大学医学部附属病院	1
国立病院機構千葉医療センター	国立病院機構千葉医療センター	1	横須賀市立市民病院	横須賀市立市民病院	1
東京都立墨東病院	東京都立墨東病院	2	東京歯科大学市川総合病院	東京歯科大学市川総合病院	1
東京都立墨東病院	千葉大学医学部附属病院	1	行徳総合病院	行徳総合病院	1
災害医療センター	災害医療センター	2	永寿総合病院	永寿総合病院	1
日本赤十字社医療センター	日本赤十字社医療センター	2	NTT東日本関東病院	NTT東日本関東病院	1
横浜労災病院	横浜労災病院	2	国家公務員共済組合連合会病院	国家公務員共済組合連合会病院	1
千葉県がんセンター	千葉県がんセンター	2	埼玉メディカルセンター	埼玉メディカルセンター	1
東京都健康長寿医療センター	東京都健康長寿医療センター	2	湘南鎌倉総合病院	湘南鎌倉総合病院	1
千葉市立海浜病院	千葉市立海浜病院	2	SUBARU保険組合太田記念病院	SUBARU保険組合太田記念病院	1
八戸市立市民病院	八戸市立市民病院	2	聖路加国際病院	聖路加国際病院	1
千葉大学医学部附属病院	千葉大学医学部附属病院	2	仙台厚生病院	仙台厚生病院	1
東京大学医学部附属病院	東京大学医学部附属病院	2	立川相互病院	立川相互病院	1
国際医療福祉大学三田病院	国際医療福祉大学三田病院	2	千葉西総合病院	千葉西総合病院	1
東京女子医科大学附属八千代医療センター	東京女子医科大学附属八千代医療センター	2	千葉メディカルセンター	千葉メディカルセンター	1
亀田総合病院	亀田総合病院	2	千葉中央メディカルセンター	千葉中央メディカルセンター	1
公立学校共済組合関東中央病院	公立学校共済組合関東中央病院	2	東京通信病院	東京通信病院	1
JR東京総合病院	JR東京総合病院	2	虎ノ門病院	虎ノ門病院	1
新久喜総合病院	新久喜総合病院	1	ハートライフ病院	ハートライフ病院	1
新久喜総合病院	千葉大学医学部附属病院	1	三井記念病院	三井記念病院	1



# 欧州医学史巡り

## クロード・ベルナル博物館

杉田 克生 (昭54)



写真 クロード・ベルナル博物館

実験医学のバイオニア、クロード・ベルナルは、フランス南東部のワインの産地で有名なリヨン近郊ボジョレー地方のサンジュリアン村で生まれた。リヨンからは車で30分ほどのブドウ畑の中に、生家と隣接してベルナルが購入した屋敷が現在博物館となっている。ベルナルは葡萄の収穫期には定期的に帰省してここで過ごした。実験室も作り、滞在中にも実験を続けた。

館内にはベルナルに関する多くの資料が展示されている。ホールから続く廊下の壁には10年ごとに区切られた年表が貼られ、彼の業績が同時代の政治、科学、芸術、文学など主要なできごとと対比しながら提示されている。展示室は数部屋に分かれ、彼が使用したガラス器具、乳鉢などの実験器具に加え、彼が独自に作成した実験器具や手書きのラベル、フランス政府からのレジオンドヌール勲章などが展示されている。有り難いことにフランス語に加え英語での説明が全ての展示品にあり理解を高めてくれる。

て生体の働きを推測するにとどまらず、血液の成分を計測し糖質源としての肝臓の働きを証明した。また脾液の消化機能や唾液腺の血管運動神経を解明し、また神経電気刺激により運動を引き起こすなど実験医学により科学的真実を追究した。特に印象的だったのは、クラーレが選択的に神経筋接合部に作用することを明らかにした実験器具であった。当然のことではあるが、何を明らかにするかにより実験装置を考案するのであり、研究の成否がそこにあるのは現代でも同様である。博物館の周囲はブドウ畑が広がっており、葡萄の木は腰までの高さなのではるか遠くまで見通せた。1860年病を得て故郷に帰ったベルナルは、この地で療養に努めながら「実験医学序説」を著した。科学に機械論(メカニズム論)を持ち込んだのはデカルトだが、医学・生物学に持ち込んだのはベルナルである。彼は医学を志す前に劇作家を夢見ていたが、実験と云う道具立てで医学に因果推論の考え方を導入した。「実験医学の父」ベルナルを知りたければ是非訪れたい博物館である。

# 令和元年度 第2回理事会議事要旨抜粋

日時：令和元年11月14日 (木) 18時より

場所：ステーションコンファレンス東京

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

出席者：...

あるが、特別寄附金として卒業50周年の昭和44年卒クラス会からの寄附があり基金(卒業50周年基金)に積立てた事、支出については委員会費がメモリアル事業委員会の開催により昨年に比べやや多めである事、振替手数料の値上げで会費収入(郵便振替)が多めになっている事、学生活動助成金より亥鼻祭への支援を行ったこと等が説明され了承された。

(2) 会報編集関係

白澤浩理事より、次号のはな同窓会報183号の発行は、令和2年1月1日であるとの説明があった。

(3) 名簿発行について

白澤理事より資料に基づき、3年毎に発行される名簿(令和3年版)の調査確認はがきについて、「出身高校」欄を大きく記入しやすくし、昭和30年から40年卒業の先生(千大文理等と記載)にも記入をお願いするとして説明された。

(4) 役員について

白澤理事より新理事候補について説明があり、西川哲男氏(神奈川のはな会)、鶴田好孝氏(山梨のはな会)からご挨拶をいただいた。

(5) その他

ホームカミングパーティーについて、吉村健佑氏から90名ほどの多くの参加者があったことが報告された。

・ 済陽会長から千葉大学75周年記念事業について説明があった。

・ 吉原俊雄副会長から参議院議員武見敬三氏に東京のはな会新年会の講演を依頼したことが報告され、他支部に案内があった。

(2) 同窓会賞選考委員について

白澤理事より資料に基づき、同窓会賞選考委員について任期2年連続2期務めた半数の3名が任期満了のため改選となり、新しく選出された選考委員、選考委員長候補について説明があり承認された。

のはな同窓会総会にて記念講演を行う」とされているが、今後は担当制でなく委員会を立ち上げ全体で検討する事、来年度は開催場所が東京と了承された。総会には評議員にもできるだけ出席を促し、多数出席の場合には評議員会の開催も可能であることが説明された。

吉川廣和メモリアル事業委員会委員長より資料に基づき、5月から数回の委員会を開催し、アンケート調査の実施、旧病院の歴史的な価値について調査を依頼、医学部新棟および記念講堂の展示スペース、モニュメント、留学生への情報提供などについて検討した事が報告された。

白澤理事より資料に基づきアンケートの途中集計結果により旧病院前面の外観、旧病院の縮小モデル、旧病院の画像などの保存希望が多くあった事、医学部新棟記念講堂の展示スペースについて説明があった。次回のはな会メモリアル事業委員会には大学の棟建設担当責任者・三木隆司理事に出席いただき、大学に具体的な提案ができるよう検討する事が述べられた。

(4) 令和2年度総会

白澤理事より資料に基づき令和2年度のはな同窓会総会は、令和2年6月13日第2土曜日にステーションコンファレンス東京にて開催予定である事が説明された。企画については大学、東京のはな会、千葉県のはな会で順に担当しているが、今後は担当制でなく委員会を立ち上げ全体で検討する事、来年度は開催場所が東京と了承された。総会には評議員にもできるだけ出席を促し、多数出席の場合には評議員会の開催も可能であることが説明された。

吉川廣和メモリアル事業委員会委員長より資料に基づき、5月から数回の委員会を開催し、アンケート調査の実施、旧病院の歴史的な価値について調査を依頼、医学部新棟および記念講堂の展示スペース、モニュメント、留学生への情報提供などについて検討した事が報告された。

白澤理事より資料に基づきアンケートの途中集計結果により旧病院前面の外観、旧病院の縮小モデル、旧病院の画像などの保存希望が多くあった事、医学部新棟記念講堂の展示スペースについて説明があった。次回のはな会メモリアル事業委員会には大学の棟建設担当責任者・三木隆司理事に出席いただき、大学に具体的な提案ができるよう検討する事が述べられた。

令和元年度 第3回理事会議事要旨抜粋

日時：令和2年2月13日

(木) 18時より

場所：ステーションコンファレンス東京

出席者

濟陽高穂(会長)

吉川廣和(副会長)

鈴木信夫(副会長)

吉原俊雄(副会長)

秋葉哲生(会計監事)

三枝一雄(参与)

大井利夫(参与)

青木 謙 赤倉功一郎

石川昭雄 上田真喜子

岡本和久 黒木春郎

穴倉正胤 白澤 浩

鈴木 守 諏訪敏一

田邊政裕 十川康弘

中村真人 西川哲男

幡野雅彦 星野 聡

三科孝夫 宮本恒彦

横須賀忠 (敬称略)

濟陽高穂会長の挨拶の後、同会長が議長となり議事が進められた。

議題

1. 報告事項

(1) 予算執行状況(中間報告)

幡野雅彦理事より資料に基づき予算の執行状況(中間報告)について説明があった。収入については、ほぼ予算どおりであり特別寄附金として昭和43年卒クラス会から寄附があったこと、支

出については委員会費が少し増加しているが、他は例年通りの執行状況である事等が説明され、了承された。  
(2) 名簿発行について  
白澤浩理事より資料に基づき令和2年10月発行予定の名簿について、大学院生については前回掲載できなかったが、大学院係より情報を得られ掲載可能の予定であること、昭和30年から40年卒業の高校名調査については現在250名ほどの回答があることが説明された。住所不明者の補足、学

年毎の管理体制、名簿掲載のメリット、医学部との協力などの意見があり、同窓会に名簿管理の部署を設けるなど今後検討する事とした。  
(3) 令和2年度役員について  
白澤理事より資料に基づき役員について説明があった。新理事松前孝幸氏(茨城のはな会)、故税所宏光参与の後任に伊藤達雄前理事の就任が承認された。  
(4) 令和2年度予算編成  
幡野雅彦理事より資料に基づきほぼ例年通りであるが、委員会費、旅費を増額し、IT広報関連経費はHPのサーバー管理会社の変更、動画をYouTubeにて配信等の変更により減額したことが説明され、承認された。学会(医局支援等のない)へのサポート案等が提案され、今後同窓会の組織変更に伴い検討する事とした。

(5) メモリアル事業委員会  
吉川廣和副会長より現医学部本館の建物の価値、建て替えに至る経緯等の説明があり、白澤理事より追加資料に基づき説明があった。今後については医学部新棟エントランスにあのはな同窓会の寄贈展示スペースとして予定された場所に医学部各

令和2年度 第1回理事会 書面審議要旨

審議期間：令和2年5月15日～6月2日

出席者(返信者)：濟陽高穂(会長)

吉川廣和(副会長)

鈴木信夫(副会長)

吉原俊雄(副会長)

秋葉哲生(会計監事)

岩倉弘毅(会計監事)

三枝一雄(参与)

大井利夫(参与)

伊藤達雄(参与)

青木 謙 赤倉功一郎

安西尚彦 石川昭雄

井上賢治 岡本和久

黒木春郎 剣持 敬

小林敏生 白澤 浩

諏訪敏一 瀧口正樹

田邊政裕 鶴田好孝

十川康弘 中島 透

幡野雅彦 幡野雅彦

中村真人 星野 聡

林田和也 宮本恒彦

松前孝幸 宮本恒彦

三木隆司 (敬称略)

1. 報告事項

(1) 会報、名簿発行について

次号184号は、コロナウイルスによる緊急事態宣

講座の歴史を示すパネルなど田邊政裕理事を中心に準備を進める事が了承された。  
(6) その他  
会務分担の組織変更のため、会則変更の案が示された。

た。担当理事制を導入する事、理事の推薦を支部あるいは総務会・理事会の推薦とする事が了承され、詳細案を作成し次回理事会に諮る事とした。

審議期間：令和2年5月15日～6月2日  
出席者(返信者)：濟陽高穂(会長) 吉川廣和(副会長) 鈴木信夫(副会長) 吉原俊雄(副会長) 秋葉哲生(会計監事) 岩倉弘毅(会計監事) 三枝一雄(参与) 大井利夫(参与) 伊藤達雄(参与) 青木 謙 赤倉功一郎 安西尚彦 石川昭雄 井上賢治 岡本和久 黒木春郎 剣持 敬 小林敏生 白澤 浩 諏訪敏一 瀧口正樹 田邊政裕 鶴田好孝 十川康弘 中島 透 幡野雅彦 幡野雅彦 中村真人 星野 聡 林田和也 宮本恒彦 松前孝幸 宮本恒彦 三木隆司 (敬称略)  
1. 報告事項  
(1) 会報、名簿発行について  
次号184号は、コロナウイルスによる緊急事態宣

野田昌一氏(昭40)の推薦があり、候補者として総会に諮ることが承認された。  
第2議案：令和2年度役員について  
令和2年度の役員について、参与として伊藤達雄氏(昭42)の推薦があり、すでに理事会にて承認されている新理事、神奈川のはな会 西川哲男氏(昭47)、茨城のはな会 松前孝幸氏(昭52)、山梨のはな会 鶴田好孝氏(昭54)を総会にて追認することが承認された。  
理事の若返りを十分検討して欲しいとの意見あり。  
第3議案：令和2年度事業計画案  
令和元年度を踏襲した事業計画案が承認された。  
第4議案：あのはな同窓会賞選考結果  
功労賞に推挙された候補者について選考委員会にて検討した結果、功労賞に矢田洋三氏(昭44)が候補者として推薦され、承認された。  
第5議案：総会について  
新型コロナウイルスの感染拡大により、あのはな同窓会総会を中止とすること、理事会、総務会を休止とすること、各種議案の審議・決定及び会員への通知は、メールや郵送とし、随時、会員諸氏の意向を反映されるものとする事が承認された。

第6議案：令和元年度決算(決算報告)  
ほぼ例年通りの予算執行がなされており、収入については卒業50周年記念基金として昭和44、43年卒からの寄附があり卒業50周年基金に積立、支出は、メモリアル事業委員会の開催による委員会費の増加についての報告があり、審議の結果、令和元年度決算が承認された。  
会費納入率についての提示が求められ会報に掲載する事とした。  
(2) 会計監査  
岩倉弘毅会計監事、秋葉哲生会計監事により令和元年度の監査が行われ、会計処理は適正であると承認された。  
第7議案：令和2年度予算案  
基本的には令和元年度の予算を踏襲しており、基金よりメモリアル事業費を取り崩す事とし、予算が承認された。  
第8議案：会務組織変更  
それに伴う会則修正  
会務分担の組織変更のため、会則変更の案が承認された。





# るのほな同窓会ホームページがリニューアルされました。

白澤 浩 (昭57)

同窓会のホームページ (HP) は、2006年 (平成18年) に開設して以来、基本的なデザインを変更してありませんでした。この度、スマホやタブレットでも閲覧し易い画面とするために、暗号化 (SSL化) を施し機密性が

向上したCMS (コンテンツ・マネージメント・システム) を使い、レスポンスな (閲覧する端末に応じて、最適な画面構成で表示される) HP にリニューアル致しました。CMSによりコンテンツの更新が容易になることから、即時性のある情報発信手段としての活用が期待されます。

また、同窓会のYouTubeチャンネル (るのほなチャンネル) を開設し、動画による情報発信の利便性を図りました。ご好評を頂いておりましたオンライン会報に収録された100本以上の動画につきましては、YouTubeへのコンテンツ移行と共に整理し、動画を検索し易い収録形式にするためのアーカイブ化を行っています。近いうちに、オンライン会報のページにつきましても更にリニューアルを行う計画であります。御期待ください。 <https://inohana.jp/>



るのほなチャンネル  
(YouTubeで「るのほな」と検索して下さい)

千葉大学るのほな同窓会会員の皆様へ

## 「会員総合補償制度」のご案内

保険期間：2020年3月1日午後4時～2021年3月1日午後4時 (中途加入随時受付)



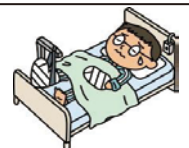
産業医等の業務もカバー可能に!

万一の **医療事故** を補償



働けなくなった時の

**収入** を補償



※パンフレット等資料のご請求やお申込みは、右記取扱代理店までお問い合わせください。

中途加入の場合、毎月20日までに頂いたお申込みにつきまして、翌月1日が補償の開始日となります。

【お問合せ先・取扱代理店】

**PIONEER 株式会社パイオニア**

Tel: 0120-36-8442 (平日 8:45~18:00)

<https://www.pioneerltd.com/>



【資料請求はこちらから】

この広告は医師賠償責任保険、産業医等活動保険、団体総合生活保険の概要についてご紹介したものです。保険の内容はパンフレットでご確認ください。また、ご加入に当たっては、必ず重要事項説明をよくお読みください。詳細は団体代表者の方にお渡ししてあります保険約款および特約によりますが、ご不明な点は取扱代理店または引受保険会社へお尋ねください。

【引受保険会社】 **東京海上日動火災保険株式会社** (担当課) 医療・福祉法人部法人第一課 Tel: 03-3515-4143 (平日9:00~17:00) 2020年6月 20-TC01594

